

平成29年度 第8回小金井市児童発達支援センター運営協議会 次第

日時：平成30年3月13日（火）午前10時から  
場所：前原暫定集会施設1階 A会議室

- 1 開会
- 2 平成30年2月までの実績報告
- 3 事務局からの報告事項
  - (1) 児童発達支援事業の定員について
  - (2) 施設長の変更について
  - (3) 研修会の開催報告について
  - (4) 平成30年度報酬改定について
- 4 平成29年度第三者評価結果について
- 5 業務評価報告書（平成29年度）について
- 6 その他
- 7 閉会

■配布資料

- 資料1 児童発達支援センター運営協議会への実績報告書
- 資料2 講演会・研修会の開催報告
- 資料3 平成30年度報酬改定について
- 資料4 福祉サービス第三者評価結果報告書
- 資料5 第三者評価利用者アンケート
- 資料6 小金井市児童発達支援センターきらり業務評価報告書（平成29年度）
- 資料7 意見・提案シート

## 児童発達支援センター運営協議会への実績報告

平成30年2月28日現在

|             | 平成29年 |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 平成30年 |    |      | 合計 |
|-------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|------|----|
|             | 4月    | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月    | 3月 |      |    |
| ①相談支援事業（一般） | 17件   | 10件 | 15件 | 18件 | 10件 | 19件 | 12件 | 27件 | 14件 | 6件  | 7件    |    | 155件 |    |
| ②相談支援事業（専門） | 25件   | 41件 | 39件 | 45件 | 35件 | 50件 | 44件 | 69件 | 47件 | 49件 | 47件   |    | 491件 |    |
| ③相談支援事業（☎）  | 35件   | 32件 | 51件 | 15件 | 19件 | 11件 | 18件 | 27件 | 23件 | 13件 | 16件   |    | 260件 |    |

|             | 平成29年 |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 平成30年 |    |        | 合計 |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|----|--------|----|
|             | 4月    | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月    | 3月 |        |    |
| ④児童発達支援事業   | 22人   | 22人  | 22人  | 22人  | 22人  | 22人  | 22人  | 22人  | 23人  | 23人  | 23人   |    | -      |    |
| ⑤放課後等デイサービス | 50人   | 50人  | 50人  | 50人  | 50人  | 50人  | 50人  | 49人  | 49人  | 49人  | 49人   |    | -      |    |
| ⑥保育所等訪問支援事業 | 0人    | 0人   | 0人   | 0人   | 0人   | 0人   | 1人   | 3人   | 3人   | 2人   | 1人    |    | 10人    |    |
| 回数          | 0回    | 0回   | 0回   | 0回   | 0回   | 0回   | 1回   | 3回   | 3回   | 2回   | 1回    |    | 10回    |    |
| ⑦親子通園事業     | 8人    | 19人  | 20人  | 21人  | 23人  | 25人  | 28人  | 32人  | 34人  | 36人  | 36人   |    | -      |    |
| 回数          | 2回    | 7回   | 10回  | 8回   | 11回  | 9回   | 10回  | 12回  | 12回  | 9回   | 11回   |    | 101回   |    |
| ⑧外来訓練事業     | 109人  | 115人 | 120人 | 121人 | 122人 | 125人 | 125人 | 122人 | 125人 | 130人 | 130人  |    | -      |    |
| 回数          | 279回  | 292回 | 298回 | 286回 | 257回 | 304回 | 288回 | 294回 | 295回 | 337回 | 308回  |    | 3,238回 |    |

## 各事業の報告内容について

|             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| ①相談支援事業（一般） | 新規の相談の方が対象                     |
| ②相談支援事業（専門） | 継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。          |
| ③相談支援事業（☎）  | 相談者、関係機関等との電話での相談。予約受付は数に含まない。 |
| ④児童発達支援事業   | 登録者数                           |
| ⑤放課後等デイサービス | 登録者数                           |
| ⑥保育所等訪問支援事業 | 登録者数及び実施回数                     |
| ⑦親子通園事業     | 登録者数                           |
| ⑧外来訓練事業     | 登録者数及び実施回数                     |

## 講演会・研修会の開催報告

## 1 開催日時

平成29年11月30日（木） 午後6時30分～午後8時30分まで

## 2 内容

医療から見た発達支援

## 3 実施形式

(1) 講義形式（講演会）

(2) 講師 川崎 葉子先生（むさしの小児発達クリニック 院長）

## 4 対象者

市内で子どもの支援に携わっている方

## 5 参加人数

|             |      |
|-------------|------|
| 幼稚園         | 25人  |
| 保育園         | 41人  |
| 認証保育園・保育室   | 5人   |
| 学校・教育委員会    | 4人   |
| 子ども家庭支援センター | 6人   |
| 学童保育所       | 9人   |
| 障害児通所支援事業所  | 17人  |
| 合計          | 107人 |

## 6 アンケート結果（一部抜粋）

- 昔は「変わった人だ」「こういうこだわりの人だ」と、名前をつけずに周りの社会や人がその人を認めたり、周りが合わせていく様な時から時代が変化し、障害のある子が増えていると思うのですが、どちらも歩み寄っていくことが大切だと思いました。
- 現在、保育や福祉を利用する人（保護者）が保育者よりも情報収集が進んでいる場合もあって、こちらの思いが伝わらない（誤解、拒否）と感ずることがあったが、PDD→ASDと変わるということを保育者が理解することで、知識だけにかたよらず、子どもの状態を共有することができると感じた。
- “子育てと親育て”というお話、心に響きました。子を育てるために親に寄り添う存在でいたいと思います。
- 親支援についても日頃感じて努力はしていますが、忙しいなかで、また人がいないなかでそこまで手が届ききれない状況もあり、難しさも感じました。

## 平成30年度報酬改定について

### 1 利用者負担金の計算

利用者負担金 = 1ヵ月総サービス提供回数 × 報酬算定単位 × 1単位単価 × 10%



厚生労働省が設定。基本報酬と加算分の報酬の合計

- 放課後等デイサービスの現在の算定の例

月1回利用 × (基本報酬276単位 + 児発管専任加算68単位 + 指導員加配加算73単位 + 処遇改善加算34単位) × 10.6円 × 10% = 478円

基本報酬

加算

地域区分による1単位単価

### 2 報酬改定の概要

#### (1) 児童発達支援事業

- 地域区分が変更 10.62円 → 10.93円
- 基本報酬が変更 885単位 → 965単位

#### (2) 放課後等デイサービス事業

- 現在は一律の単価設定となっている基本報酬について、利用者の状態像を勘案した指標を設定し、報酬区分を設定する。具体的には、各事業所において、食事、排せつ、入浴及び移動のうち3以上の日常生活動作について全介助を必要とする児童又は別紙指標において13点以上に該当する児童が利用者にも占める割合に基づき、基本報酬を適用する。
- 授業終了後に提供する場合に、1日に行われるサービス提供の時間が短い事業所については、人件費等のコストを踏まえた基本報酬を設定する。
- 地域区分が変更 10.6円 → 10.9円

### 3 利用者負担金の試算

#### (1) 児童発達支援事業(1日)

|        |        |
|--------|--------|
| 平成29年度 | 2,173円 |
| 平成30年度 | 2,324円 |

※利用者負担金は世帯の所得に応じて3段階の上限月額があります。  
→0円、4,600円、37,200円

#### (2) 放課後等デイサービス事業(1回)

|        |      |
|--------|------|
| 平成29年度 | 478円 |
| 平成30年度 | 431円 |
|        | 460円 |

上記該当児童が定員に占める割合が50%未満の場合  
上記該当児童が定員に占める割合が50%以上の場合

(別添)

### 放課後等デイサービスの基本報酬の区分における指標（案）

食事、排せつ、入浴及び移動のうち3以上の日常生活動作について全介助を必要とする障害児又は別表に掲げる項目の欄の区分に応じ、その項目が見られる頻度等をそれぞれ同表の0点の欄から2点の欄までに当てはめて算出した点数の合計が13点以上である障害児

※項目の判断基準は障害支援区分の取扱いに準ずる

#### 【別表】

| 項目                 | 0点                                  | 1点   | 2点                                    |
|--------------------|-------------------------------------|--|---------------------------------------|
| コミュニケーション          | ○日常生活に支障がない                         | ○特定の者であればコミュニケーションできる<br>○会話以外の方法でコミュニケーションできる | ○独自の方法でコミュニケーションできる<br>○コミュニケーションできない |
| 説明の理解              | ○理解できる                              | ○理解できない  | ○理解できているか判断できない                       |
| 大声・奇声を出す           | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 異食行動               | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 多動・行動停止            | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 不安定な行動             | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 自らを傷つける行為          | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 他人を傷つける行為          | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 不適切な行為             | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 突発的な行動             | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 過食・反すう等            | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| てんかん               | ○年1回以上                              | ○月に1回以上  | ○週1回以上                                |
| そううつ状態             | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 反復的行動              | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 対人面の不安緊張、集団生活への不適応 | ○支援が不要<br>○希に支援が必要<br>○月に1回以上の支援が必要 | ○週に1回以上の支援が必要                                  | ○ほぼ毎日（週5日以上）の支援が必要                    |
| 読み書き               | ○支援が不要                              | ○部分的な支援が必要                                     | ○全面的な支援が必要                            |

## 福祉サービス第三者評価結果報告書(平成29年度)

[ver.2]

2018年 1月 31日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 102-0074  
所在地 千代田区九段南3-4-5  
番町ビル7A

評価機関名 特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク

認証評価機関番号 機構 02 - 010  
電話番号 03-5211-8710  
代表者氏名 南端 常雄

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

| 評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号                                | 評価者氏名  |              | 担当分野 | 修了者番号  |
|--|--|--------------|------|--|
|  | ①  | ●●●●●●●●     | 経営   | H0403065                                     |
|  | ②  | ●●●●●●●●     | 福祉   | H0303002                                     |
|  | ③  | ●●●●●●●●     | 福祉   | H0901005                                     |
|  | ④  |              |      |  |
|  | ⑤  |              |      |  |
|  | ⑥  |              |      |  |
| 福祉サービス種別   | 障害児多機能型事業所   |              |      | <input checked="" type="checkbox"/> 食事を対象にする |
| 評価対象事業所名称  | 小金井市児童発達支援センターきらり  |              | 指定番号 | 1354100065                                   |
| 事業所連絡先   | 〒  | 184-0002     |      |  |
|  | 所在地  | 小金井市梶野町1-2-3 |      |  |
|  | TEL  | 0422-60-1550 |      |  |
| 事業所代表者氏名   | センター長 中村 悠子  |              |      |  |
| 契約日  | 2017年 6月 13日   |              |      |  |
| 利用者調査票配付日(実施日)   | 2017年 10月 2日   |              |      |  |
| 利用者調査結果報告日   | 2017年 11月 7日   |              |      |  |
| 自己評価の調査票配付日  | 2017年 8月 28日   |              |      |  |
| 自己評価結果報告日  | 2017年 11月 7日   |              |      |  |
| 訪問調査日  | 2017年 11月 28日  |              |      |  |
| 評価合議日  | 2017年 11月 28日  |              |      |  |
| コメント<br>(利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入) | 職員には職員自己評価に関する説明文を配布し、第三者評価の趣旨と自己評価手法について理解を深めた。利用者調査は、全利用者を対象とし、アンケート用紙を事業所より配布してもらい、回答後、返信用封筒にて直接評価機関に返送する方法を取った。報告会は資料を作成し実施した。 |              |      |  |

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2018年 1月 30日

事業者代表者氏名 中村 悠子

印

|   |   |
|---|---|
| 1 | <p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述<br/>（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)誰もが利用しやすい発達支援センター<br/>2)相談から療育までの一貫した支援のできる発達支援センター<br/>3)各種機関の連携の核となる発達支援センター<br/>4)早期に発見し、支援につなげる機能を持った発達支援センター<br/>5)利用者等の意見を反映させた発達支援センター<br/>6)発達支援事業の広報周知、理解啓発を行う発達支援センター</p>                                     |
| 2 | <p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人権を尊重し、子どもと家族の立場に立って支援を提供する。</li> <li>・専門性への追求と様々な問題にチャレンジする向上心を持つ。</li> </ul> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期から成人期さらに高齢になった利用者の成長と暮らしを支援してきたグループかがわの歴史と理念を踏まえ福祉の現状、動向を広い視野で見つめ利用者のニーズに応える。</li> </ul> |

[ver.2]

調査対象

在籍数22名、世帯数22世帯を対象とした。

調査方法

アンケート用紙を事業所より配布してもらい、回答後、返信用封筒にて直接評価機関に返送する方法を取った。

利用者総数  
利用者家族総数(世帯)  
共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

|      |
|------|
| 22   |
| 22   |
| 22   |
| 19   |
| 86.4 |

**利用者調査全体のコメント**

アンケート調査の結果から、多くの項目で肯定的な回答が得られている。サービスの提供では、事業所に通うことが子どもの身体機能や健康状態に良い影響を与えていることに高く満足している様子がうかがえた。また、感情のコントロールを身につける等、情緒面の発達にも役立っていることや、安心・快適性では、食事場所やトイレなど、事業所内は清潔に保たれ整理がされていること、利用者個人の尊重では、事業所では子どもの気持ちや考えを大切にされた対応がされていることその他、個別の計画の作成や見直しの際には、子どもや家族の意見や要望を聞いてくれている等、複数の項目で回答者全員が「はい」と回答している。不満や要望に関しても、職員に伝えやすく、その後の対応も行われていると感じている様子が見受けられた。なお、困ったことなどを外部の窓口に相談できるしくみが周知されているかについては、他の項目より「はい」を選択した利用者が少なくなっている。総合的な感想では、事業所への満足度について、「大変満足」の回答が最も多く、次いで「満足」となっている。

**利用者調査結果**

| 共通評価項目<br>コメント  | 実数 |               |     |            |
|---|----|---------------|-----|------------|
|   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 無回答<br>非該当 |
| 1. 事業所に通うことが、子どもの身体の機能や健康の維持・促進の役に立っているか  | 19 | 0             | 0   | 0          |
| 19名の利用者、全員が「はい」としており、事業所に通うことが子どもの身体機能や健康状態に良い影響を与えていると回答している。自由意見では、一人ひとりに合わせた指導をしてくれるので、できることが増えたという声が聞かれた。   |    |               |     |            |
| 2. 事業所での活動は、子どもが興味や関心を持てるものになっているか  | 18 | 1             | 0   | 0          |
| 19名の利用者のうち、18名が「はい」としており、事業所で行う活動は子どもが興味や関心を持てるものになっていると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」と回答している。自由意見では、事業所で活動したことを家でもやっているという声が聞かれた。                             |    |               |     |            |
| 3. 事業所に通うことが、子どもの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っているか   | 19 | 0             | 0   | 0          |
| 19名の利用者、全員が「はい」としており、事業所に通うことで、子どもが感情のコントロールを身につける等、情緒面の発達に役立っていると回答している。自由意見では、自己肯定感を持てるように対応してくれて救われているという声や、情緒面では保護者が知らない部分まで分析、配慮してくれて勉強になるという声が聞かれた。 |    |               |     |            |



|   |    |   |   |   |
|---|----|---|---|---|
| 4. 事業所に通うことで、子どもに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身についているか  | 18 | 1 | 0 | 0 |
| 19名の利用者のうち、18名が「はい」としており、子どもが人とのかかわり方やルールなど社会性を身につけていると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」と回答している。自由意見では、大人とのかかわり方は身についたと思うという声が聞かれた。その他、身につくまでは時間が必要だと思うという意見もあった。 |    |   |   |   |
| 5. 子どもの様子や支援内容(体調変化時の対応含む)について、事業所と情報共有できているか   | 19 | 0 | 0 | 0 |
| 19名の利用者、全員が「はい」としており、子どもの様子や体調に変化があった際の支援内容など、情報の共有が事業所とできていると回答している。   |    |   |   |   |
| 6. 家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っているか   | 17 | 1 | 0 | 1 |
| 19名の利用者のうち、17名が「はい」としており、子育てに関する情報や家族への精神的サポートが役立っていると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」、残りの1名が「非該当」と回答している。自由意見では、進路相談などの相談にのってくれてありがたいという声が聞かれた。                 |    |   |   |   |
| 7. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか  | 18 | 1 | 0 | 0 |
| 19名の利用者のうち、18名が「はい」としており、食事場所やトイレなど、事業所内は清潔に保たれ整理がされていると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」と回答している。   |    |   |   |   |
| 8. 職員の接遇・態度は適切か   | 17 | 2 | 0 | 0 |
| 19名の利用者のうち、17名が「はい」としており、職員の接し方や声をかける際の言葉遣い、服装などは適切なものであると回答している。その他、2名が「どちらともいえない」と回答している。自由意見では、名前を記名する際に「さん」を書いてくれたり丁寧さを感じるという声が聞かれた。                  |    |   |   |   |
| 9. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか   | 17 | 2 | 0 | 0 |
| 19名の利用者のうち、17名が「はい」としており、ケガをしたときや体調を崩した際の職員の対応は信頼できると回答している。その他、2名が「どちらともいえない」と回答している。自由意見では、少しの傷を見つけたときでも丁寧に様子を教えてくれるという声が聞かれた。                          |    |   |   |   |
| 10. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか   | 15 | 2 | 0 | 2 |
| 利用者間でトラブルなどがあった場合の職員の対応が信頼できるかについて、19名の利用者のうち、15名が「はい」、2名が「どちらともいえない」、残りの2名が「非該当」と回答している。   |    |   |   |   |

|  |    |   |   |   |
|--|----|---|---|---|
| 11. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか  | 19 | 0 | 0 | 0 |
| 19名の利用者、全員が「はい」としており、事業所では子どもの気持ちや考えを大切にされた対応がされていると回答している。  |    |   |   |   |
| 12. 子どものプライバシーは守られているか   | 17 | 1 | 0 | 1 |
| 19名の利用者のうち、17名が「はい」としており、子どもや家族のプライバシーに配慮した対応がされていると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」、残りの1名が「非該当」と回答している。  |    |   |   |   |
| 13. 個別の計画作成時に、子どもや家族の状況や要望を聞かれているか   | 19 | 0 | 0 | 0 |
| 19名の利用者、全員が「はい」としており、個別の計画を作成したり見直しをする場合は、子どもや家族の意見や要望を聞いてくれると回答している。自由意見では、要望だけでなく悩みや心配事も聞いてくれるので信頼できるという声が聞かれた。  |    |   |   |   |
| 14. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか   | 19 | 0 | 0 | 0 |
| 19名の利用者、全員が「はい」としており、個別のサービス計画に対する職員の説明はわかりやすいと回答している。自由意見では、専門的な話はわかりづらいので、具体的に話をしてくれるとありがたいという声が聞かれた。  |    |   |   |   |
| 15. 利用者の不満や要望は対応されているか   | 18 | 0 | 0 | 1 |
| 19名の利用者のうち、18名が「はい」としており、不満や要望は伝えやすく、その後の対応も行われていると回答している。その他、1名が「非該当」と回答している。   |    |   |   |   |
| 16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか   | 9  | 5 | 2 | 3 |
| 困ったことなどを外部の窓口で相談できるしくみが周知されているかについて、19名の利用者のうち、9名が「はい」、5名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」、3名が「非該当」と回答している。自由意見では、困ったときなどどうしたらいいか教えてくれたという声が聞かれた。その他、困ったと思うことがないので聞いたことがないという意見もあった。 |    |   |   |   |

[ver.2]

調査対象

全利用者を対象とした。

調査方法

アンケート用紙を事業所より配布してもらい、回答後、返信用封筒にて直接評価機関に返送する方法を取った。

利用者総数

50

共通評価項目による調査対象者数

| アンケート | 聞き取り | 計    |
|-------|------|------|
| 50    |      | 50   |
| 21    |      | 21   |
| 42.0  | 0.0  | 42.0 |

共通評価項目による調査の有効回答者数

利用者総数に対する回答者割合(%)

**利用者調査全体のコメント**

アンケート調査の結果から、ほとんどの項目で肯定的な回答が得られている。サービスの提供では、事業所で行う活動や遊びは楽しく、興味が持てるものになっていることに満足している様子がうかがえた。安心・快適性では、食事場所やトイレなど、事業所内は清潔に保たれ整理がされていると多くの利用者が回答している。利用者個人の尊重では、事業所では子どもの気持ちや考えを大切にされた対応がされていると回答した利用者が多い。不満や要望については、職員に伝えやすく、その後の対応も行われていると多くの利用者が感じている。なお、困ったことなどを外部の窓口にご相談できるしくみが周知されているかについては、他の項目より「はい」を選択した利用者が少なくなっている。総合的な感想では、事業所への満足度について、「大変満足」の回答が最も多く、次いで「満足」「どちらともいえない」となっている

**利用者調査結果**

| 共通評価項目   | 実数 |           |     |            |
|--|----|-----------|-----|------------|
|  | はい | どちらともいえない | いいえ | 無回答<br>非該当 |
| 1. 事業所での活動は楽しく、興味の持てるものとなっているか   | 19 | 2         | 0   | 0          |
| 21名の利用者のうち、19名が「はい」としており、事業所で行う活動や遊びは楽しく、興味が持てるものになっていると回答している。その他、2名が「どちらともいえない」と回答している。                          |    |           |     |            |
| 2. 事業所での仲間との関わりは楽しいか   | 16 | 4         | 0   | 1          |
| 友達や仲間と一緒に楽しく過ごせているかについて、21名の利用者のうち、16名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答している。自由意見では、友達がたくさんいると楽しいという声が聞かれた。なお、1名の利用者は無回答であった。 |    |           |     |            |

|   |    |   |   |   |
|---|----|---|---|---|
| 3. 職員は、話し相手や、相談相手になってくれるか   | 19 | 1 | 0 | 1 |
| 21名の利用者のうち、19名が「はい」としており、事業所の職員は子どもと話をしたり、困ったときには相談にのってくれたりすると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」、残りの1名が「非該当」と回答している。   |    |   |   |   |
| 4. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか  | 20 | 1 | 0 | 0 |
| 21名の利用者のうち、20名が「はい」としており、食事場所やトイレなど、事業所内は清潔に保たれ整理がされていると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」と回答している。                     |    |   |   |   |
| 5. 職員の接遇・態度は適切か   | 19 | 1 | 0 | 1 |
| 21名の利用者のうち、19名が「はい」としており、職員の接し方や声をかける際の言葉遣い、服装などは適切なものであると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」と回答している。なお、1名の利用者は無回答であった。 |    |   |   |   |
| 6. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか   | 18 | 0 | 0 | 3 |
| 21名の利用者のうち、18名が「はい」としており、ケガをしたときや体調を崩した際の職員の対応は信頼できると回答している。なお、3名の利用者は無回答であった。                                |    |   |   |   |
| 7. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか  | 18 | 2 | 0 | 1 |
| 21名の利用者のうち、18名が「はい」としており、子ども同士でトラブルなどがあつた場合の職員の対応は信頼できると回答している。その他、2名が「どちらともいえない」、1名が「非該当」と回答している。            |    |   |   |   |
| 8. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか  | 19 | 1 | 0 | 1 |
| 21名の利用者のうち、19名が「はい」としており、事業所では子どもの気持ちや考えを大切にされた対応がされていると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」、残りの1名が「非該当」と回答している。         |    |   |   |   |
| 9. 子どものプライバシーは守られているか   | 17 | 1 | 0 | 3 |
| 21名の利用者のうち、17名が「はい」としており、子どものプライバシーに配慮した対応がされていると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」、3名が「非該当」と回答している。                   |    |   |   |   |

|   |    |   |   |   |
|---|----|---|---|---|
| 10. 個別の計画作成時に、子どもや家族の状況や要望を聞かれているか  | 18 | 1 | 0 | 2 |
| 21名の利用者のうち、18名が「はい」としており、個別の計画を作成したり見直しをする場合は、子どもや家族の意見や要望を聞いてくれていると回答している。その他、1名が「どちらともいえない」、2名が「非該当」と回答している。    |    |   |   |   |
| 11. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか  | 19 | 2 | 0 | 0 |
| 21名の利用者のうち、19名が「はい」としており、個別のサービス計画に対する職員の説明はわかりやすいと回答している。その他、2名が「どちらともいえない」と回答している。                              |    |   |   |   |
| 12. 子どもの不満や要望は対応されているか  | 20 | 0 | 0 | 1 |
| 21名の利用者のうち、20名が「はい」としており、不満や要望は伝えやすく、その後の対応も行われていると回答している。その他、1名が「非該当」と回答している。                                    |    |   |   |   |
| 13. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか  | 8  | 6 | 3 | 4 |
| 困ったことなどを外部の窓口で相談できるしくみが周知されているかについて、21名の利用者のうち、8名が「はい」、6名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」、1名が「非該当」と回答している。なお、3名の利用者は無回答であった。 |    |   |   |   |

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

|     |   |  |
|-----|---|--|
| No. | 共通評価項目  |  |
|     | カテゴリ1   |  |
| 1   | リーダーシップと意思決定  |  |
|     | サブカテゴリ1(1-1)  |  |
|     | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている   | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>9/9</b>  |
|     | 評価項目1<br>事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している<br>評点(〇〇〇〇)                   |  |
|     | 評価  | 標準項目   |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし            | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>   |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし            | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>                           |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし            | 3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>                    |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし            | 4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span> |
|     | 評価項目2<br>経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている<br>評点(〇〇)          |  |
|     | 評価  | 標準項目   |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし            | 1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>  |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし            | 2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>  |
|     | 評価項目3<br>重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している<br>評点(〇〇〇) |  |
|     | 評価  | 標準項目   |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし            | 1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>  |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし            | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>   |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし            | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>                                   |

### カテゴリー1の講評

#### 法人の基本理念に加え、グループの基本理念を定め、支援を通じて実践している

法人の事業基本理念を全施設・事業所の共通理念として、法人のホームページで明示する他、この事業基本理念に沿って、各事業所の事業内容・特性を踏まえた障害児・者支援ブロック「グループかがわ」の基本理念を定め、ホームページ、パンフレットに明記している。基本理念には子ども一人ひとりの人格と個性を尊重し、生活と成長を支援すること等を掲げている。職員は、法人研修、新任研修で理解を深めるとともに、全体会議で事業計画を説明する際にブロックの事業目標として示すことで浸透を図り、支援を通じて実践している。

#### センター長はリーダーを配置する等組織体制を整備し、基本理念の実現に取り組んでいる

センター長は、職員会議で、子どもの成長発達に向けて家族の立場に立った支援をするという理念を職員に示し、事業計画に基づき実践している。また、主任をはじめ、各クラスにリーダーを配置して計画を着実に実施する体制を整備するとともに、通園リーダー会議・ケース会議等、各会議で現場の現状把握に努めている。さらに、指定管理事業者として市が示した小金井市児童発達支援センター事業詳細計画の理念・方針に従い、市との連絡・調整や保護者、市内関係団体の代表等による運営協議会等での要望や意見等を踏まえて、事業を推進している。

#### センター長、主任、リーダーによる担当部会で運営に関する事項を協議・決定している

通園と放課後デイサービスの職員の勤務時間が異なり、職員全員で協議することが困難であることから、事業所の運営に関する事項は、センター長、主任、リーダーで構成する担当部会で主に協議、決定するとともに、決定内容は、職員会議やリーダーからの報告で職員に周知している。また、保護者には、毎月発行している「おたより」の他、早急に伝える必要がある場合は別途「お知らせ」プリントを作成、配布しており、保護者が見逃がす場合等も考慮して、送迎バスに貼り出す等の工夫を行い、周知徹底を図っている。

| 2 カテゴリー2   |  |                              |
|--|--|------------------------------|
| 2 経営における社会的責任  |  |                              |
| サブカテゴリー1(2-1)  |  |                              |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる   |  | <b>サブカテゴリー毎の標準項目実施状況</b> 4/4 |
| <b>評価項目1</b><br>社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>        |  |                              |
| 評価   | 標準項目   |                              |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している                 | <input type="radio"/> 非該当    |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる               | <input type="radio"/> 非該当    |
| <b>評価項目2</b><br>第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span> |  |                              |
| 評価   | 標準項目   |                              |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる            | <input type="radio"/> 非該当    |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している | <input type="radio"/> 非該当    |
| サブカテゴリー2(2-2)  |  |                              |
| 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている  |  | <b>サブカテゴリー毎の標準項目実施状況</b> 7/7 |
| <b>評価項目1</b><br>事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>                      |  |                              |
| 評価   | 標準項目   |                              |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)       | <input type="radio"/> 非該当    |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている   | <input type="radio"/> 非該当    |
| <b>評価項目2</b><br>ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>             |  |                              |
| 評価   | 標準項目   |                              |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している                                  | <input type="radio"/> 非該当    |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)                      | <input type="radio"/> 非該当    |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている                       | <input type="radio"/> 非該当    |
| <b>評価項目3</b><br>地域の関係機関との連携を図っている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>                              |  |                              |
| 評価   | 標準項目   |                              |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している                             | <input type="radio"/> 非該当    |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている                    | <input type="radio"/> 非該当    |



## カテゴリー2の講評

### 外部委員による運営協議会で実績報告を行う等により、事業所の透明性を高めている

課題解決等に向けた方策の提案、実施事業の執行状況の検証、評価を行う機関として設けられた運営協議会で、年4回事業所の利用実績等状況を報告しており、各委員からの質問に対しては、センター長が詳細に説明している。また、第三者評価を毎年受審し、東京都の評価結果公表サイトで開示する他、協議会委員による職員の取り組み姿勢や運営状況についての評価も受ける等して、透明性を高めている。なお、センター長・主任は、運営協議会や市民からの要望を集約して課題を整理することが必要と認識しており、今後の取り組みに期待したい。

### 地域への貢献活動として研修会を実施し、市内在宅・在学・在勤の市民等が参加している

地域への貢献活動として、他の団体に会議室・ポールプール等の設備や備品の貸し出しを行っている他、事業所主催の研修会では、保護者に加え、市内在宅・在学・在勤の一般市民、在勤の支援者が参加し、地域住民等も対象とした外部講師による講演会も毎年実施している。講演会の開催案内は市の広報に掲載して広く参加を呼びかけており、特に学校関係者の参加を増やすため、開催時間等は今後検討を予定している。講演・研修会終了後は、アンケートを実施して意見や要望を収集している。なお、将来の人材育成を目的として実習生を積極的に受け入れている。

### 地域療育連絡会等に参加し、地域の子どもへの支援に対する課題把握に努めている

地域療育連絡会、心身障害児・者施設協議会、特別支援学級設置校長会、子ども家庭支援センター運営協議会の他、さまざまな地域の連絡会等のネットワークに参加している。地域連絡会では中野・練馬等都内各区と近隣市の障害児事業所が参加し、支援内容の情報交換を行っている。また、要保護児童対策地域協議会に参加して要保護家庭の現況を把握しており、今後、子ども家庭支援センターとの連携が増えて行くことを予測している。事業所は、こうした地域の課題に対する役割への認識を持ち、さらに専門的な機能を果たしていくことを考えている。

| カテゴリ3   |  |                           |
|---|--|---------------------------|
| 3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用   |  |                           |
| サブカテゴリ1(3-1)  |  |                           |
| 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している   |  | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8      |
| <b>評価項目1</b><br>利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>  |  |                           |
| 評価  | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている     | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる                     | <input type="radio"/> 非該当 |
| <b>評価項目2</b><br>利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>   |  |                           |
| 評価  | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる      | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している     | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる                        | <input type="radio"/> 非該当 |
| <b>評価項目3</b><br>地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>   |  |                           |
| 評価  | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる               | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる                    | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している | <input type="radio"/> 非該当 |
| カテゴリ3の講評  |  |                           |
| <p>苦情解決制度を整備し保護者からの意見・要望・苦情への速やかな解決に取り組んでいる</p> <p>苦情解決制度について、事業所内に掲示するとともに、重要事項説明書に市の窓口、東京都社会福祉協議会や第三者委員の氏名と電話番号を明示している。法人のホームページには苦情解決システム図を掲載する他、当事者への配慮から事業所名は示さずに、苦情内容、情報不足・職員の態度・対応等の想定原因と、解決策等を公表している。また、保護者からの意見・要望・苦情には、速やかな解決に取り組み、内容と改善結果及び保護者への回答を記録している。さらに、経過についても記録して、事業所全体の課題と捉え、職員への周知浸透を図っている。</p> <p>アンケート結果等について保護者にフィードバックするしくみ作りが望まれる</p> <p>保護者の意向は第三者評価の受審時の利用者調査に加え、保護者会や行事アンケートで把握に努めている。実際に、1泊の「お泊りチャレンジ」や「親子遠足」では雨天中止になったことがあったため、雨でも実施できる場所を選定する等、保護者の意見をいかした企画を工夫している。一方、利用者調査、行事アンケートの結果や保護者の意見について、フィードバックするしくみが整備されていない状況は、センター長も課題と認識している。今後の、意見・要望等に対する事業所の考え方や対応、改善等を保護者に伝えるしくみ作りが望まれる。</p> <p>地域のニーズに応え、より多くの子どもが利用できるよう市との連携を図る等期待したい</p> <p>地域のニーズを地域療育連絡会、子ども家庭支援センター会議等に出席して把握を図っている他、行政の動きに関する情報は、東京都社会福祉協議会等で東京都の知的障害関係施策、国の障害福祉施策に関する動向を収集している。これらの取り組みを通じて、地域では、利用希望者の中でも2歳児の待機者が多いことを把握しており、事業所としては、より多くの子どもが利用できるように工夫することを課題と認識している。地域のニーズに対応するため、今後、市と連携して取り組んでいくことが期待される。</p> |  |                           |

| カテゴリ4  |  |                            |
|--|--|----------------------------|
| 4  | 計画の策定と着実な実行  |                            |
| サブカテゴリ1(4-1)   |  |                            |
| 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる  |  | サブカテゴリ毎の<br>標準項目実施状況 11/11 |
| 評価項目1<br>取り組み期間に応じた課題・計画を策定している                              |  |                            |
| 評点(000)  |  |                            |
| 評価   | 標準項目   |                            |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している                         | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 年度単位の計画を策定している                                      | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる             | <input type="radio"/> 非該当  |
| 評価項目2<br>多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している                            |  |                            |
| 評点(0000)   |  |                            |
| 評価   | 標準項目   |                            |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている                       | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている                 | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している       | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している | <input type="radio"/> 非該当  |
| 評価項目3<br>着実な計画の実行に取り組んでいる                                    |  |                            |
| 評点(0000)   |  |                            |
| 評価   | 標準項目   |                            |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している                     | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている      | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している                    | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる   | <input type="radio"/> 非該当  |

## サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

4/4

## 評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している                      | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している                        | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる                       | <input type="radio"/> 非該当 |

## カテゴリ-4の講評

## 中・長期計画に基づく組織目標を明示した単年度計画策定への職員の参画が期待される

法人において2011年から2020年の第二次中・長期計画を策定しており、取り組み目標として「創業者の意思と実践の継承」「働きやすく魅力のある職場環境の整備」「職員として、また対人援助者としての資質向上」等の5項目を掲げている。事業所においては、これを踏まえ、年度事業計画で、職員の資質の向上、職員の働き方・業務内容の再検討を組織目標として明示している。また、年間行事予定等に基づき、短期の活動についても、担当者を決めて取り組んでいるが、計画策定において、職員がさらに参画できるしくみ、体制整備が期待される。

## 事業計画に示された年度目標について、具体的な実施計画の策定が望まれる

年度事業計画は、法人で統一した書式に則り、取り組み目標と実施事業の概要、安全管理等について簡潔に記載しており、行事、研修費用等数値目標を明示している。事業計画は職員が参画し、3月に次年度の取り組みや課題について話し合い、策定している他、個別の計画として、担当者や内容、費用、スケジュール等を明示した行事企画書を作成して、実施後は結果と振り返りを記載することで次回策定時の参考としている。一方、目標に対する具体的な計画策定には至っていない状況であり、取り組み方法やスケジュール等を明示した実施計画の策定が望まれる。

## 地震等、災害発生後の早期復旧計画の策定には早急に取り組まれない

災害対策として、毎月の避難訓練や災害伝言ダイヤル訓練をはじめ、年1回、保護者による子どもの引きとり訓練や隣接する保育園及び消防署との合同避難訓練を実施する等、災害時の安全確保に取り組んでいる。また、緊急安全確保マニュアルを整備し、子どもの事故に対する事前予防、活動中や屋外での事故対応について明示している。さらに、地震対策発生時の対応として事業所内と屋外での活動中の誘導・救護・保護者への引き渡しについて手順を明示している。なお、地震等災害発生後の早期復旧計画については未整備のため、早急な体制整備を図られたい。

| 5  |   |  | カテゴリー5                    |  |
|--|---|--|---------------------------|--|
| 5  |   |  | 職員と組織の能力向上                |  |
|  |   |  | サブカテゴリー1(5-1)             |  |
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる                       |   |  | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況         |  |
|  |   |  | 8/8                       |  |
| 評価項目1  |   |  | 標準項目                      |  |
| 事業所にとって必要な人材構成にしている  |   |  | 評点(000)                   |  |
| 評価   | 標準項目  |  |                           |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している               |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている                             |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる                                    |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |
| 評価項目2  |   |  | 標準項目                      |  |
| 職員の質の向上に取り組んでいる  |   |  | 評点(00000)                 |  |
| 評価   | 標準項目  |  |                           |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している                            |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している        |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している  |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている                 |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |
|  |   |  | サブカテゴリー2(5-2)             |  |
| 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる                                       |   |  | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況         |  |
|  |   |  | 7/7                       |  |
| 評価項目1  |   |  | 標準項目                      |  |
| 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる                           |   |  | 評点(000)                   |  |
| 評価   | 標準項目  |  |                           |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している                  |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる                |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる                   |  | <input type="radio"/> 非該当 |  |

| 評価項目2<br>職員のやる気向上に取り組んでいる   |   | 評点(〇〇〇〇)                  |
|---|---|---------------------------|
| 評価  | 標準項目  |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる                 | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる                            | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる  | <input type="radio"/> 非該当 |
| カテゴリー5の講評   |   |                           |
| <p><b>今年度より人事制度を試行的に導入して、職責に応じた求める能力を明示している</b></p> <p>法人において人事制度を導入して、等級と職責の関連性を整理し、それぞれに求められる能力を明示しており、人事制度ガイドブックでは新たな人事制度の考え方を説明するとともに、職員に周知を図っている。これにより、職員に求められる能力が明確となり、職員一人ひとりの育成計画につなげる人事制度が構築されている。今年度は試行段階で、次年度より本格始動を予定している。また、人材採用は障害児・者支援ブロックの状況を踏まえ、法人でホームページ等を活用して募集を行い、その中で、採用職種、資格要件等を明示して、採用活動を実施している。</p> <p><b>目標管理シートの活用により、職員個別の研修計画とともに育成計画の策定が望まれる</b></p> <p>職員の目標管理シートを活用し、追求したい専門性に関する目標と目標達成のための取り組みを面接を通して確認している。法人の新入研修、経験年数別の研修、テーマ別研修、ブロック研修等に加え、外部研修情報も提供し、研修計画に基づいた受講をすすめ、勤務調整や費用補助等、バックアップ体制を図っている。また、研修受講後は、学んだことや今後どのようにいかすか等を報告書に記載の上、研修履歴を添付して提出するしきみを設けている。なお、今後は研修計画とともに、中・長期的な視点からの個人別の育成計画を策定していくことが望まれる。</p> <p><b>健康調査票で職員の心身の状況を把握し、必要なケアを行う体制を整備している</b></p> <p>事業所では、メンタル面の健康調査票のチェックにより職員の健康状態を把握し、必要に応じて面接等で職員へのケアを行っている。また、法人において臨床心理士による巡回や面談等の支援体制を整備している。就業状況については、業務に支障のない、スムーズな有休取得を課題とするリーダー層の意見も職員自己評価では聞かれており、今後そのための工夫等を話し合うことにも期待したい。なお、福利厚生制度については、職員の意向を踏まえ、法人で、福利厚生団体への加入等、充実に向けて検討している。</p> |   |                           |

| 7  |  |   |  | カテゴリ7            |  |
|--|--|---|--|------------------|--|
| 7  |  |   |  | 情報の保護・共有         |  |
|  |  |   |  | サブカテゴリ1(7-1)     |  |
| 情報の保護・共有に取り組んでいる   |  |   |  | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 |  |
|  |  |   |  | 7/7              |  |
| 評価項目1  |  | 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる                      |  | 評点(○○○)          |  |
| 評価   |  | 標準項目  |  |                  |  |
| ●あり ○なし  |  | 1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している                       |  | ○非該当             |  |
| ●あり ○なし  |  | 2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している                |  | ○非該当             |  |
| ●あり ○なし  |  | 3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している                     |  | ○非該当             |  |
| 評価項目2  |  | 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している                       |  | 評点(○○○○)         |  |
| 評価   |  | 標準項目  |  |                  |  |
| ●あり ○なし  |  | 1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している                          |  | ○非該当             |  |
| ●あり ○なし  |  | 2. 個人情報の保護に関する規定を明示している                               |  | ○非該当             |  |
| ●あり ○なし  |  | 3. 開示請求に対する対応方法を明示している                                |  | ○非該当             |  |
| ●あり ○なし  |  | 4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている |  | ○非該当             |  |
| カテゴリ7の講評   |  |   |  |                  |  |
| <p>情報をサーバーで管理し、パスワード設定によりアクセス権限を設けている</p> <p>個人情報や経営情報、主要情報等は、障害児・者支援ブロック内サーバーで管理している。情報へのアクセスにはパスワードを設定して、センター長・主任・専門職・正規職員等、職層毎に情報を閲覧できる範囲を設けている。また、子ども別のフォルダ等で情報を整理して取り出しやすいよう管理体制を整備している。さらに、個人記録等、紙媒体の情報は、事務室・職員室の施錠できるキャビネットに保管している。相談記録・検査結果等の書類が増加している状況を踏まえ、それぞれに保存年限を設けて整理を進めている。</p> <p>個人の尊厳を最大限尊重する基本理念のもと個人情報保護規程を整備している</p> <p>個人の尊厳を最大限に尊重する基本理念のもと、個人情報の適正な取り扱い、法令等を遵守する目的で「個人情報保護規程」を整備し、法人ホームページで公表している。個人情報の利用目的は、規程で特定する旨を明示するとともに、「個人情報についての同意書」で具体的な取り扱いを認める個人情報と情報提供する関係機関を列記して、それぞれにチェックすることで保護者の同意を確認している。情報開示に関しては、重要事項説明書の中に、申し出により開示する旨を記載し、説明している。なお、個人情報保護について今年職員研修で徹底を図る予定である。</p> <p>法人において情報セキュリティ強化に向けて検討している</p> <p>法人で情報システムの適正運用を図るため、「情報システム運用管理規程」と緊急事態が発生した場合に備えて「情報システムの緊急事態における行動指針」を整備するとともに、現在、法人で情報セキュリティ強化に向けて検討を行っている。なお、個人情報保護法については、今年度5月に改正法が施行されており、個人情報保護に関してさらなる管理体制の強化が求められている。組織的・人的・物理的・技術的安全措置について、監督機関のガイドラインを参考に、現状の体制を検証することが望まれる。</p> |  |   |  |                  |  |

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

**主任を配置し、事業所全体の情報を職員が共有する体制が整備された**

事業所全体の情報が職員に周知できるよう主任を配置し、情報の窓口を一本化した。また、各事業の担当部会で周知に努めた。その結果、事業所全体の情報を職員が共有する体制が整備された。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

**目標管理シート作成を通して職員の目標の明確化やスキルアップへの意識向上が図られた**

人事制度導入に伴い、目標管理シートを職員が各自作成し、主任との面談で確認を行った。目標管理シートを作成をしたことで、職員各自の目標が明確になり、スキルアップに向けた意識の向上が図られた。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

**地域や保護者にわかりやすいよう情報を提供するため、ホームページを充実させた**

今年度、事業所の情報をさらにわかりやすく提供するため、ホームページをリニューアルした。特に支援の内容や様子が伝わるよう写真を多く取り入れるとともに、電話予約から利用まで流れをフローで示した結果、地域や保護者に提供する情報が充実した。



サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

予算の執行状況を職員に報告し、予算に対する認識が深まった

予算策定時に見直しを立て、精度を高めるとともに、職員が事業所の収支について把握できるよう予算の執行状況を職員会議で報告した。その結果、予算に対する認識が深まり、物品購入依頼書提出の徹底が図られた。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している  
 ・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

行事アンケートの結果を踏まえ、雨の日でも可能な親子遠足等の場所選定等を工夫した

親子遠足、お泊りチャレンジ等、行事アンケートを実施して保護者の要望や意見を把握し、計画への反映に努めた。昨年度の保護者からの行事アンケート結果を踏まえ、雨の日でも親子遠足・お泊りチャレンジが可能となるよう場所の選定等を工夫した。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

| No. | 共通評価項目   |  |
|-----|--|--|
|     | サブカテゴリ-1   |  |
| 1   | サービス情報の提供  | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4   |
|     | 評価項目1<br>子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している  | 評点(0000)   |
|     | 評価   | 標準項目   |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 子どもや保護者が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>                |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>    |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>                       |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 4. 子どもや保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>   |
|     | サブカテゴリ-1の講評  |  |
|     | <p>事業所のホームページをリニューアルしてわかりやすい事業内容の提供に努めている</p> <p>利用希望者に事業所情報を提供する方法として、法人及び事業所のホームページ、パンフレット等、多様な媒体を用意している。ホームページは今年度リニューアルして、事業内容をわかりやすく伝えるために写真を掲載するとともに利用の流れを明示する等、内容の充実を図っている。また、市のホームページでも情報が掲載され、事業所のホームページにリンクしている。パンフレットは、障害児・者支援ブロック「グループかがわ」と事業所用の2種類を用意しており、事業所パンフレットには利用手続き、支援内容、一日の流れ、年間行事予定を掲載している。</p> <p>新たにポスターを作成して市・保健所・医療機関等に配布し情報の周知を図っている</p> <p>一昨年に市から事業の委託を受け、昨年度より指定管理者として運営しているが、市民からの認知度は高いとはいえない状況にあるため、今年度「気になることがあるときは電話ください」と記載したポスターを新たに作成し、事業所の情報が広く伝わるよう、市・保健所・幼稚園・保育所・医療機関等に配布している。また、市民、市内関係団体、行政関係機関、学識経験者で構成する運営協議会を年4回開催し、各事業の利用実績報告や事業所主催の講演会・研究会・学習会の実施報告等の情報を提供している。なお、年度末に市へは事業報告書を提出している。</p> <p>利用希望者等からの電話での問い合わせや見学希望には丁寧な対応を心がけている</p> <p>事業所のホームページには、相談を随時受け付けていることを明示するとともに、利用までの流れを図式化して掲載している他、市のホームページにも問い合わせ先を明示している。どのような事業なのか、市外でも利用可能か等の電話相談に対しては、詳細な支援内容や市外の場合は相談や放課後デイサービスは空きがあれば可能である旨丁寧な説明を心がけ、電話相談票に記録している。見学希望については、子どもや保護者の状況に応じて日程調整を行い、受け入れており、その他、医療機関や教育機関、行政機関等からの研修見学も受け入れている。</p> |  |
|     | サブカテゴリ-2   |  |
| 2   | サービスの開始・終了時の対応   | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7   |
|     | 評価項目1<br>サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、同意を得ている  | 評点(000)  |
|     | 評価   | 標準項目   |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span> |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の同意を得るようにしている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>       |
|     | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 3. サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>          |

| 評価項目2<br>サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている                 |  | 評点(〇〇〇〇)                  |
|--|--|---------------------------|
| 評価   | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている         | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている                       | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリー2の講評

利用相談時に課題を整理して必要なサービスを受けられるよう手続きを経て契約している

利用希望者は電話で予約をとり、来所相談時には現状や困りごと等の聞き取りをしながら、課題を整理して必要な支援を考えるしくみを設けており、その内容は「初回相談記録票」へと記している。その後、見学の際に、パンフレット・利用案内、契約書・重要事項説明書によりサービス内容を説明するとともに、11月初頭から月末のエントリー期間への申し込みを促している。利用にあたっては市と協議をして優先度により決定し、決定の連絡を受けた後受給者証を申請して、保護者から契約書・重要事項説明書へ署名・捺印を得て、契約している。

他の相談支援等の経験がある場合には支援の継続性に留意して引き継ぎを行っている

利用の際、「児発」(児童発達支援事業)と「放デイ」(放課後等デイサービス事業)それぞれ、事業所が定めた書式に保護者や職員が記録した内容を「個人別カルテ」として管理し、生活習慣やコミュニケーション・言語等に関する子どもの状況を詳細に把握することに努めている。入園式からバス通園、給食が始まるが、子どもの状況に応じて環境に慣れるまでは、段階的に柔軟な対応を図っている。また、その子どもを担当したことのある各専門職と引き継ぎを行い、支援の継続性に留意している。

サービス終了にあたり、新たな生活へスムーズに移行できるよう情報共有を図っている

サービスを終了する場合として、転居や就学・就園等の他、子どもの成長に伴う療育の必要性の減少等がある。利用終了後に学校公開へ出向いたり、引き継ぎケース会議を開催して、教員が療育の様子を見学する等、情報交換等を行い、移行がスムーズにすすめられるよう心がけている。また、保育園、幼稚園等を訪問して情報共有を図り、集団生活に適應できているか等、課題について把握したうえで、個々の自立生活を目指せるよう専門的な支援を行っている。

サブカテゴリー3

|   |                 |                       |       |
|---|-----------------|-----------------------|-------|
| 3 | 個別状況に応じた計画策定・記録 | サブカテゴリー毎の<br>標準項目実施状況 | 11/11 |
|---|-----------------|-----------------------|-------|

| 評価項目1<br>定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している      |   | 評点(〇〇〇)                   |
|--|---|---------------------------|
| 評価   | 標準項目  |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子ども一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している          | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている                  | <input type="radio"/> 非該当 |

|  |   |                           |
|--|---|---------------------------|
| <b>評価項目2</b><br>子どもや保護者の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している        |   | <b>評点(〇〇〇〇)</b>           |
| <b>評価</b>  | <b>標準項目</b>                               |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 計画は、子どもや保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている         | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 計画を子どもや保護者にわかりやすく説明し、同意を得ている           | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたくうえで、必要に応じて見直している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している                | <input type="radio"/> 非該当 |

|  |   |                           |
|--|---|---------------------------|
| <b>評価項目3</b><br>子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している                    |   | <b>評点(〇〇)</b>             |
| <b>評価</b>  | <b>標準項目</b>   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしきみがある                         | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | <input type="radio"/> 非該当 |

|  |   |                           |
|--|---|---------------------------|
| <b>評価項目4</b><br>子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している                    |   | <b>評点(〇〇)</b>             |
| <b>評価</b>  | <b>標準項目</b>                                 |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している     | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリー3の講評

**個別支援計画及びアセスメントは6か月毎に見直し・評価するしきみを設けている**

個別支援計画には、個人面談での保護者の意向をもとに長期・短期的な目標を立て、アセスメント情報の検証を踏まえて、ADL(日常生活動作)・運動・言語・コミュニケーション等項目毎の到達目標を設定して具体的な支援内容を示している。また、個別支援計画及びアセスメントは6か月毎に見直し、評価して前期報告書としてまとめ後期の計画書へと反映している。策定とそのため会議の時期は年間計画に落とし込み、児童発達支援管理責任者が担当職員と連携しながら計画的にすすめ、子どもや保護者にわかりやすく説明し署名・捺印にて同意を得ている。

**「サービス提供記録」で子どもの心身状況を保護者と情報交換し、療育にいかしている**

子どもの発達状況は、前期・中期・後期のアセスメントの更新時、項目別に達成状況を分析するとともに、まとめとして最優先課題を明示することで、次期の療育の目標を明確にしている。後期のまとめには、引き継ぎ事項と今後の見通しを記載して、次年度にいかしている。子どもの心身状況に関しては、連絡帳を兼ねた「サービス提供記録」を通して毎日保護者と情報を交換して確認印を得ており、家庭生活との継続性に留意している。また、1週間分を「週間まとめ記録」として、計画に沿った支援の成果等を示すことで、保護者との認識共有に努めている。

**事業所としてより良い療育を子どもへ提供するために意識的に情報共有を図っている**

朝と降園後には、非常勤職員も含め全員でのミーティングを行っており、朝は事業所全体の予定の確認、療育内容・職員体制等の確認を行う他、終了後は、日々振り返りの時間を設けて情報共有を図り、関係者間での引き継ぎを行っている。一方、職員室、事務室が別フロアにあり、事業毎に療育時間帯にも幅があるため、他事業の職員間の情報共有が難しい環境となっているが、事業所としてより良い療育を提供するためには、一体感を持って支援・業務にあたる必要性を職員それぞれが高い意識を持って業務にあたっていることが、職員自己評価からもうかがえる。

| サブカテゴリ5   |   | サブカテゴリ毎の<br>標準項目実施状況      | 8/8 |
|---|---|---------------------------|-----|
| 5   | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重  |                           |     |
| 評価項目1<br>子どものプライバシー保護を徹底している  |   | 評点(000)                   |     |
| 評価  | 標準項目  |                           |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、子どもや保護者の同意を得るようにしている               | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 日常の支援の中で、子どものプライバシーに配慮した支援を行っている                                     | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 3. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている   | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| 評価項目2<br>サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している   |   | 評点(00000)                 |     |
| 評価  | 標準項目  |                           |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(子どもが「ノー」と言える機会を設けている)                       | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 3. 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている                           | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 4. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている  | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 5. 施設内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している                       | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| サブカテゴリ5の講評  |   |                           |     |
| <p>子どもが羞恥心を理解できるように生活場面での言葉の使い方を意識している</p> <p>利用開始前に、子どもに関する情報を提供する関係機関について、個人情報に関する同意書で保護者と確認を行っている。「おたより」やクラスの部屋の名前表は原則フルネームだが、ひらがな表示にし、状況によって名前だけの表示としている。生活場面では、着替えは外部から見えない場所で行う等、羞恥心に配慮しながらも、子どもが羞恥心を理解することもまた、育ちの過程で必要であると事業所は考えている。そのため、恥ずかしさを感じにくい子に対しては、日常支援で「はずかしい」という言葉を職員が意識して使い、子どもの理解を促している。</p> <p>虐待防止対応規程を整備して、フロー図等で職員への周知を図っている</p> <p>「障害児・者支援ブロック虐待防止対応規程」を整備して、責任者の設置等、体制を構築するとともに、虐待の相談・報告のしくみも整備を行っている。担当職員からの報告に基づき事業所内で検討し、状況に応じて子ども家庭支援センターと連携を図り対応する等、フロー図を示すことで職員への周知を図っている。また、子ども間のいじめ等が起きないよう見守り体制を整え、トラブルが生じた際は、それぞれの子どもの職員が寄り添って気持ちを聞いた上で、職員が代弁したり、子ども同士が伝え合う場を設ける等、互いを尊重できる対応に努めている。</p> <p>子どもの意思や意見を尊重し活動へ主体的に参加することを大切にして支援に臨んでいる</p> <p>日常の支援においては、子どものコミュニケーション力に応じて、意思を把握した上で、選択できるよう働きかけている。活動の場面では、子どもの意思確認を行い、参加しないと表明した場合にはその気持ちを受け止め、子どもの意思を尊重するとともに、主体的に参加することを大切にして支援に臨んでいる。また、保護者から、個々の子どもの好きなこと、いやなこと、習慣となっていること等を聞き取り、価値観や習慣等に配慮した支援にも努めている。さらに、子どもが見通しを持って行動できるよう環境を整えることにより、主体的な関わりを促している。</p> |   |                           |     |

サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを定期的に点検・見直しをしている   | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している          | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている                    | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようにしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる             | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

| 評価   | 標準項目   |                           |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している                  | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている                 | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している             | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている          | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリー6の講評

日課・週・月次業務の手順を示した業務マニュアルを整備し、事務室等に常備している

日課として実施する基本事項の手順等を明示した業務マニュアルを整備しており、給食・午睡・自由遊び等の日常業務について、時間・職員対応・留意事項が示されている。また、所外保育・散歩外出等、週業務、月次業務についての手順も明示されている。業務マニュアルは、事務室や各クラスに設置し、職員及び非常勤職員が必要に応じて確認する等、活用している。マニュアルは事故や保護者からの意見・要望等があった際に見直す他、障害児・者支援ブロックの全体研修や各事業所の実践例をもとに、手順等の改善を図っている。

職員会議、ケース会議等において話し合う機会を設け、基本事項の浸透を図っている

職員会議で担当職員から現状や課題を報告する場を設け、相互に業務を知り、誰もが標準的な支援ができるよう手順等を確認している。また、ケース会議では支援方法等を話し合い、職員間で共有する他、日常的には朝・夕の打ち合わせ等の機会を活用し、基本事項の浸透を図っている。職員の支援状況についてはセンター長、児発管がサービス提供記録の確認を行い、必要に応じて助言・指導をしている一方、職員の能力向上を図るため自己啓発研修の機会を設けているが、全職員が参加できる勤務体制等の整備が課題となっており、計画的な取り組みに期待したい。

同様の事故が繰り返されている状況があり、改善策を検証するしくみを構築されたい

子どもの安全を守るため、緊急安全確保マニュアルや防災マニュアルを整備し、職員の対応を明示しており、マニュアルの中で、子どもにかかる事故の対応手順として、事前予防や活動中・屋外での活動中に発生した事故対応が示されている。未然予防を図るため、ヒヤリハット・事故報告で事例を集め、職員会議で共有して改善策を検討しているが、同様の事故が繰り返されている状況がうかがえる。今後は、講じた改善策の定期的な検証を行うしくみを構築して、その実効性を話し合い、必要に応じてより有効な改善策を立案、実施する等、工夫されたい。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

| サブカテゴリー4  |   |
|---|---|
| サービスの実施項目   | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 <b>27/27</b>  |
| <p>1 評価項目1<br/>個別の支援計画に基づいて子ども一人ひとりの発達の状態に応じた支援を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>   |   |
| 評価  | 標準項目  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 個別の支援計画に基づいた支援を行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>                                   |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 子どもの特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>                        |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 3. 関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって、支援を行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>                |
| 評価項目1の講評  |   |
| <p>各事業の指導のねらいと個別の目標に則り、療育の実践の振り返りを行っている</p> <p>事業所では、「児発」「放デイ」それぞれに、将来を見据えた基本的な生活習慣の習得等、指導のねらいを設け、担当職員が支援にあたる他、必要により専門職へ相談できる体制を整えている。また、「サービス提供記録」を通して行う保護者との情報共有で、子どもへの働きかけや、それによる行動面の変化等を把握し、その効果等を検証するとともに、個々に応じた手立てを実践している。なお、個別支援計画及びアセスメントは、半期毎に振り返りを行い、目標の到達状況や次期の課題を明確にして、子どもの心身の発達状況等を保護者と確認・共有を図っている。</p> <p>子ども個々のコミュニケーション方法を職員間で共有し統一した支援に努めている</p> <p>コミュニケーションは、子どもが自分の意思を伝え、相手の伝えたいことを受け止める手立てとなる重要な支援として認識している。また職員は利用開始時、保護者から得た情報をアセスメントして、家庭でのコミュニケーションの方法やその目的等を把握するとともに、個別に写真カード・イラストを用いたプログラムカード、コミュニケーションブックを作成して、伝えたいことを伝える方法を子どもが獲得する支援を行っている。また、ケース会議や毎日のミーティングの場では、子どもの状況について職員間で共有し、統一した支援が行えるよう努めている。</p> <p>医療機関や教育機関、児童福祉施設等と連携を図り切れ目のない支援をすすめている</p> <p>療育をすすめる中、子どもの発達・成長の過程において医療機関を受診した際には、保護者からの情報提供を依頼している。また、保育所等訪問支援事業では、子どもが集団生活に適応できるよう、専門分野の職員が、子どもが通う小学校をはじめ、幼稚園、保育園等に向いて行動観察をした上で、情報共有及び交換等を行い、支援の継続性に留意している。さらに、要保護児童対策協議会にも出席して、地域の子どもの現状や児童福祉施設等における共通課題等の検討をすすめる等、さまざまな関係機関連携を図り、切れ目のない支援をすすめている。</p> |   |
| <p>2 評価項目2<br/>【食事の支援がある事業所のみ】子どもが食事を楽しめるよう支援を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇〇)</p>  |   |
| 評価  | 標準項目  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>                              |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 子どもの状態やペースに合った食事となるよう、必要な支援(見守り、声かけ、食の形態や用具の工夫等)を行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span> |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 3. 子どもが安全に食事をとれるよう取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>                              |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 4. 食物アレルギーや疾患等については、医師の指示に従い、対応している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>                       |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 5. 食についての関心を深めるための取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>                              |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 6. 子どもの状況をふまえて家庭での食事について助言を行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>                          |



評価項目2の講評

栄養士が直接子どもと関わり献立の説明をする等、食事への関心を高めている

事業所の厨房では、栄養士が作った献立表に則って季節の食材や栄養バランスを考えた給食を毎日提供しており、食事に関心を持って楽しめるように、行事食等を取り入れる等、工夫している。また、栄養士が各クラスを巡回して直接子どもたちと話をする等関わりを持つ時間を設けて、献立の説明をする他、職員との情報共有を図っている。さらにクラス内では衛生面に留意するとともに、落ち着いた雰囲気の中で食事が摂れるように、テーブルやイスの配置、子ども同士の関係性等に配慮し、介助が必要な場合にはマンツーマンで子どものペースに合わせ対応している。

献立会議で子どもの食事形態等について検討し個別に合った内容を提供している

毎月の献立会議では栄養士と調理職員、職員とが保護者からの情報を踏まえ、子ども一人ひとりの食事形態等を検討している。また「サービス提供記録」からの情報によって都度変更しており、野菜スティック状にして食べやすくする等工夫している他、子どもからリクエストメニューを聞いて、例えばピザを提供する等、意向の反映も行っている。保護者へは献立表を配布するとともに、給食を試食する機会を設けてレシピを紹介したり、保護者から栄養士へ直接質問できる場を作って栄養士から家庭での食事について助言を行う等、家庭との連携を深めている。

食物アレルギーがある場合には除去食等の個別対応を図り安全な食事提供に留意している

子どもの摂食状況は、看護師が中心となって確認しており、子どもが自身で口に運びやすい食具の持参を呼びかけて、自分で食べられる、食べ切ることへの達成感が得られる体験を積んでいる。一方、食物アレルギー等がある場合には、医師からの指示書の提出を依頼するとともに、母親へは、留意する必要がある献立に関しては、献立表へマーカーを引くよう依頼している。また、食事提供時には複数の職員で、複数回確認することを共通認識として対応する他、「放デイ」では、おやつ提供の際に、アレルギー除去等へ留意する等、安全管理に努めている。

3 評価項目3

子ども一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

| 評価   | 標準項目  |                           |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 身の回りのことは自分でできるよう、必要な支援を行っている                           | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 基本的な生活習慣や社会生活上のルール等（あいさつ、マナー、交通ルール等）を身につけられるよう支援を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 集団活動を取り入れるなど、子どもの心身の発達や社会性が育つよう支援を行っている                | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 一人ひとりの有する能力を活かせるよう個別のプログラムを実施している                      | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 送迎は、子どもと保護者等の状況に応じて送迎方法を検討し、行っている                      | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目3の講評

子ども個々の心身の発達に応じたプログラムを設定し、できることを増やしている

生活習慣・コミュニケーション・言語・行動・感覚・運動・集団生活等において、現時点で子どもがどの程度の力を備えているかアセスメントを行い、その結果から優先課題を定めプログラムを設定している。室内では走る・止まる・ジャンプ等のリズム、または登る・くぐる・渡る等のサーキットで身体を動かす経験により、ボディイメージが持てるようにする他、のり・絵具・クレヨン・小麦粉粘土等による製作や感覚遊びを行う等、課題を日常生活の中に結びつけて、できることを増やしている。

他者との関わりにより集団生活へ適応する力や役割行動等、子どもの社会性を育てている

2～3歳児の「そら」、3～4歳児の「にじ」、4～5歳児の「かぜ」の3クラスでは、各クラスで集団活動の場を設けており、活動の始まりには、1カ所に集まり、挨拶や名前呼び、手遊び、歌等みんなで一つのことを楽しみ、音声言語の習得・表出につなげている。また、近隣公園までの散歩で交通ルールを覚えたり、公園の遊具で遊ぶ順番を守る等、他者との関わり方を学ぶとともに、集団の中で役割を設けその遂行を通して社会性を育てている。職員は、子どもの行動に対して肯定的な言葉を遣うことによって、自己肯定感が高まるよう働きかけている。

「児発」は送迎車、「放デイ」は保護者による送迎とそれぞれで対応を図っている

送迎に関して「児発」では、朝夕ともに入園式から送迎バスの利用が可能となっている。一方「放デイ」では、週1回固定曜日の利用となっており、保護者の支援を重視するという観点からも保護者による送迎を依頼して、相談にも応じられるよう努めている。一方、予定の保護者の送迎が難しい場合には、その子によりステップを踏んで1人通所したり、「送迎利用確認書」の提出を促し、安全面に留意したしくみ・体制を整えている。

|  |  |          |
|--|--|----------|
| 4 評価項目4<br>子どもの健康を維持するための支援を行っている  |  | 評点(〇〇)   |
| 評価   | 標準項目   |          |
| ●あり ○なし  | 1. 子どもの健康状態について、保護者や医療機関等から必要な情報を収集している      | ○非該当     |
| ●あり ○なし  | 2. 子どもの状態に応じた健康管理を行い、体調変化に速やかに対応できる体制を整えている  | ○非該当     |
| 評価項目4の講評   |  |          |
| <p>嘱託医との連携により、子どもの健康や身体の発達・機能への助言を支援にいかしている</p> <p>相談支援事業への相談時や引き継ぎの際に、保護者及び医療機関からの情報を入手する他、身長・体重の毎月の測定、内科・歯科・整形外科の嘱託医による健康診断、児童精神科医による医療相談等を実施して、子どもの健康状態の把握に努めている。また歯科検診や保護者向けの口腔ケア講習会で、歯科衛生士から家庭での歯磨き対応へのアドバイスを得ている。さらに「個人別カルテ」には、入所時の相談記録票・引き継ぎ資料、医療機関の情報、健康記録が保管され、嘱託医との連携により、子どもの健康や身体の発達・機能への助言を支援にいかしている。</p> <p>保護者からの健康相談等には看護師が対応して必要な情報や支援を提供している</p> <p>日常的には「サービス提供記録」により、「児発」は体温・睡眠・排泄・朝食、必要に応じて与薬状況、「放デイ」は健康状態等と家庭での様子等の記入をそれぞれ保護者に依頼し把握している。また、電話連絡や来所した際の健康相談、体調不良で経過観察が必要な場合等は、看護師が対応している。さらに看護師は、毎月「ほけんだより」を発行し、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症に関する予防や対策の情報を記載して注意喚起を図り、送迎バスの中にも感染予防に関するポスターを貼る等、事業所内へ持ち込まないよう職員の意識を高めている。</p> <p>子どものケガや体調変化等には丁寧な対応を心がけており満足度も高い状況となっている</p> <p>「緊急安全時確保マニュアル」を整備し、通所後の発熱や発作、子どもの体調変化への対応はその手順に沿った対応に努めている。療育の現場で体調不良が生じた際には、看護師や管理職へ報告され、そこから保護者へ連絡して迎えを要請している。また、急変時には保護者へ速やかに連絡して、嘱託医、協力医療機関、主治医等いずれの医療機関で受診するかを相談・対応している。一方、虫に刺されないよう子どもへの防虫剤等の使用を事前に保護者確認・了承を得る等、細やかな対応を心がけており、利用者調査結果から保護者の満足度も高いことがうかがえる。</p>   |  |          |
| 5 評価項目5<br>子どもの主体性を尊重し、施設での生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている  |  | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価   | 標準項目   |          |
| ●あり ○なし  | 1. 日常生活の支援は子どもの主体性を尊重して行っている                 | ○非該当     |
| ●あり ○なし  | 2. 子どもが安心して活動できるよう、状況に応じて室内の環境を工夫している        | ○非該当     |
| ●あり ○なし  | 3. 子どもの状況や希望に沿って、多様な体験ができるようにしている            | ○非該当     |
| ●あり ○なし  | 4. 【放課後等デイサービス】<br>子どもの状況に応じて利用日や利用時間を設定している | ○非該当     |
| 評価項目5の講評   |  |          |
| <p>多様な体験の機会を設けて子どもの社会性を育むとともに、社会への適応を促している</p> <p>活動時は、事前に流れや方法を説明し見通しを持つことで、子どもが主体的に行動できる対応を心がける一方、子どもが望まない場合は気持ちを受け止め、アプローチを変える等、柔軟に対応している。また、例えば劇を通して自分の役割を知り、役割に応じて動くことを楽しむ他、保護者の前で披露する経験を設ける等により、自己肯定感を高めている。さらに、年間計画において「児発」は「お泊り」やプール、交流保育、山登り、親子遠足等、「放デイ」は夏休みの外出等、多様な体験の機会を設けることで、社会性を育むとともに、社会への適応を促している。</p> <p>活動場面はできる限り刺激を軽減し子どもが活動に集中できる環境設定を図っている</p> <p>事業所1階の「通園」の各クラス及び「放デイ」の活動場所は、アルコール消毒で清潔保持に努めている他、活動場面においては、必要な物のみの設置で、できる限り刺激を軽減し、子どもが目の前の活動に集中できる環境設定を図っている。また、活動中に子どもが2階にある訓練室へ移動した際には、別事業の担当である各専門職がクラスへ戻るよう促したり、同行する等連携しており、統一性のある対応を心がけている。特に「放デイ」は曜日毎に利用する子どもが代わるため、収納ボックス等の名札はその都度変えて、場所がわかるよう配慮している。</p> <p>「放デイ」は固定曜日の同じメンバーで構成して良好な関係づくりへの支援に努めている</p> <p>「放デイ」は小学1から6年生を対象に、月曜から金曜と学校の授業日に合わせ、開所時間内であれば常時受け入れる体制を整えている。また、将来を見据え、基本的な生活習慣の習得や安定した人との関わりができる支援、個別に応じた役割を持った活動の実践等を指導のねらいに示し、支援に努めている。利用にあたっては、週1回の固定曜日として、同じメンバーで構成することによって、調理イベントや季節行事、夏休みの外出等を通して、良好な関係づくりが図られるよう支援をすすめており、利用者調査結果では子どもからも楽しいとの声が聞かれている。</p> |  |          |

| 6 評価項目6<br>家族との交流・連携を図り支援を行っている                              |  | 評点(〇〇〇〇)                  |
|--|--|---------------------------|
| 評価   | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どものサービス提供時の様子や家庭での普段の様子を家族と情報交換し、支援に活かしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 家族の意見や要望を活かした支援を行っている                       | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 家族の状況に配慮し、相談対応や支援を行っている                     | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 子どもや家族に合った療育方法等について助言している                   | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目6の講評

面談時や来園した際に家庭の状況を把握するとともに子どもの療育への反映に努めている  
 子どもの発達に関して専門的な相談ができる機関が地域に少ない状況下、事業所は、発達に心配がある子どもの早期療育を行い、社会への適応を促すことで、家族の安心につなげている。「児発」「放デイ」それぞれにおいて「サービス提供記録」を用意し、連絡帳として家庭と情報交換を行っている他、個別支援計画作成の面談時に意向・要望を聞き取っており、それ以外でも希望により適宜面談の時間を設ける等、家族の気持ちに寄り添いながら、療育にあたっている。一方、土曜日・夕方の相談枠は予約が集中するため、設定の見直しを課題と捉えている。

家族で立ち上げた「たけのこ会」から、クリスマス会や卒園式等への協力が得られている  
 事業所では、保護者会・保育参観・個人面談・親子遠足の行事等、家族が参加する機会を持ち、療育等への理解と協力を得ている他、家族間において支え合う体制ができてきて、有志で立ち上げた「たけのこ会」から、クリスマス会や卒園式等への協力が得られている。また、各行事の際には毎回アンケートを実施して要望や意見を取りまとめ、前年度の反省をいかして、天候に左右されない企画を立てる等、要望の実現を図っている。また、家族には毎月「おたより」で誕生日の子どもやクラスの様子、手遊び等の紹介を行い、家庭での話題につなげている。

ライフステージに応じた一貫性のある支援が受けられる「さくらシート」を活用している  
 市は、特別な配慮が必要な市民が生涯にわたって安全で安心した生活を送れるように、ライフステージに応じて健康や生活の様子を記録する「さくらシート」を作成し、対象となる本人・家族が医療機関、保育園・幼稚園・学校等で一貫した継続的な支援を受けるためのツールとしての活用を促している。生育歴や受けてきた支援内容を記録して、携わる人々や関係機関へ伝えることで共通理解につなげ、一貫した切れ目のない支援を受けられる体制を整えている。なお、行政のホームページからダウンロード可能で、該当部分を活用している状況がうかがえる。

| 7 評価項目7<br>地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている               |   | 評点(〇〇〇)                   |
|--|---|---------------------------|
| 評価   | 標準項目  |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 地域の情報を収集し、子どもの状況に応じて提供している   | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 必要に応じて、子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるよう支援を行っている                          | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 【児童発達支援センター】<br>地域全体の在宅障害児や関係機関等を対象に、施設・設備や人材・プログラムを有効に活用した支援を実施している | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目7の講評

隣接する保育園との交流により子ども同士の関わり・多様な体験の機会を設けている

事業所の玄関ホールには、行政や各関係機関からの情報を掲示しており、子どもや保護者が必要な情報を得られるよう配慮している。また、隣接の保育園とは交流保育・「プレイデー」の実施、合同の防災訓練の開催等により、子ども同士が交流する機会を設けている。さらに、保護者向け・支援者向け・一般向けと対象者別の研修を企画し、年間を通じて実施しており、昨年度は、幼・保・学童関係者が現場で困っていることを共有する場を設け、情報や他園のアイデア等を共有することで、共通理解・精神面のサポートを行っている。

各事業における職員が専門的な役割を持ち連携により質の高い療育の提供に努めている

相談支援事業では一般相談、臨床心理士による発達相談、言語聴覚士によるST相談、作業療法士によるOT相談、理学療法士によるPT相談の専門相談があり、相談内容に応じて対応を図っている。また、相談支援専門員による計画相談では、アセスメント、コーディネート等により、子どもがニーズに即したサービスを受けられるよう手続きを行っている。さらに親子通園事業、各専門職による専門外来訓練事業等があり、職員一人ひとりが専門的な役割を担うとともに、職員同士の連携により、質の高い療育の提供に努めている。

学童巡回や訪問支援等、子どもが学校や保育所等で安定して生活できるよう支援している

学童巡回では、市内9カ所の学童保育所を対象に、心理士がそれぞれ年3回訪問し、発達に偏りがある子どもへの基本的な理解や支援方法、環境設定等について、助言を行っている。また、学童職員向けの研修に講師を派遣している。保育所等への訪問支援では、保護者・在籍先と相談の上、専門職が幼稚園・保育所・学校等に出向き、対象児の集団参加の場面を実際に見ながら、子どもが集団生活に適用できるような具体的な工夫等について伝える等、保育士・教員等をサポートしている。

| 事業者が特に力を入れている取り組み① |  |                                    |
|--------------------|--|------------------------------------|
| 評価項目               | 5-2-1  | 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる |
| タイトル①              | 各事業及び全体での事例検討を通して職員が互いに学び合う場を設けている   |                                    |
| 内容①                | <p>養育の質の向上に向けて職員研修の充実を図っている他、長期的視点に立ち、職員が業務を標準的に遂行できるよう育成に努めている。職員会議やケース会議を育成の場と捉え、各係や役割担当等が現状・課題を報告し、職員が誰でも同じように業務を行えるために手順や業務内容を共有している。また、障害児・者ブロック「グループかがわ」としての実践報告書を作成して、合評会において学び合う場を設けている。事業所では、全職員がその報告書の作成に携わり、その過程で学び合うとともに、合評会での発表者についても、育成を視野に入れ選定している。</p> |                                    |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② |  |  |
|--------------------|--|--|
| 評価項目               | 6-4-1  | 個別の支援計画に基づいて子ども一人ひとりの発達の状態に応じた支援を行っている |
| タイトル②              | 環境整備、職員体制を整えて療育の実践を積み重ね、個性の高い支援に尽力している   |  |
| 内容②                | <p>市の指定管理を受託したため、利用者及び関係者の意見を反映して適正な管理・運営がなされているかを検証し、利用者へのサービスの向上を図ることを目的とした運営協議会を設置して、その業務評価を受けている。それらの結果を受けて、専門職の複数及び増配置等とともに、療育内容の充実を図ってプログラムの検討や環境設定の工夫に取り組んでいる。また、個別支援計画の策定にあたっては、アセスメントで生活習慣・コミュニケーション・集団生活等の項目毎に状況と実態を把握し、家庭のニーズを踏まえて目標を掲げて個性の高い支援に尽力している。</p> |  |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ |  |                                  |
|--------------------|--|----------------------------------|
| 評価項目               | 7-1-1  | 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる |
| タイトル③              | 基準を設けて、蓄積されたカルテ等の情報の整理・管理体制の整備に取り組んでいる   |                                  |
| 内容③                | <p>事業所は、2013年度より市から相談支援事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、保育所等訪問支援事業等、多機能型の児童発達支援センターとして委託を受け事業を推進している。また、利用にあたっては療育に必要な個人情報をカルテとしてまとめ、ニーズに合った適正な療育が受けられる体制を構築している。年々蓄積されるカルテは利用終了後も一定期間保存する必要から、基準に基づいて事業所内の施錠可能なキャビネットに保管している。さらに、各療育の記録等の情報に関しても同様に保存期間を設けて、情報管理を図っている。</p> |                                  |

| No. | 特に良いと思う点     |  |
|-----|--------------|--|
| 1   | タイトル         | 地域住民や支援者等に向けて研修会等を開催し、事業所の専門性を還元している   |
|     | 内容           | 会議室やボールプール、楽器等、事業所の設備や備品を地域団体へ貸し出す他、専門職による相談を随時受け付ける等、地域へ機能や専門性を還元している。また、事業所主催の外部講師による講習会と支援者研修会を実施しており、講習会は保護者をはじめ、市内在住・在学・在勤の地域住民等も対象にするとともに、支援者研修会は、学校・保育所・幼稚園・学童・障害者施設の関係者で、市内在勤の支援者を対象としている。いずれも終了後にはアンケートを実施し、参加者からの感想や意見を収集して次回の企画に反映することでさらなる充実を図っている。  |
| 2   | タイトル         | 行事を通じて他者との関わりやすさまざまな経験の場を設け、子ども一人ひとりの成長を促している  |
|     | 内容           | 「児発」は「お泊りチャレンジ」やプール、山登り、親子遠足等、「放デイ」は夏休みの外出等を年間計画に位置づけ、多様な体験の機会を設けて社会性を育むとともに、社会への適応を促している。また行事の際は毎回保護者へアンケートを実施して要望や意見を取りまとめ、今年度はこれまでの反省から、宿泊を伴うイベントでは雨天でも実施可能な企画を立てる等、要望の実現につなげている。さらに隣接の保育園との交流保育・「プレイデー」、合同の防災訓練等により他者との関わりやすさまざまな経験の場を設け、子ども一人ひとりの成長を促している。  |
| 3   | タイトル         | 専門職や各関係機関等と連携を図り、子ども・保護者それぞれへの支援に取り組んでいる   |
|     | 内容           | 相談支援事業では一般相談、臨床心理士による発達相談、言語聴覚士によるST相談、作業療法士によるOT相談、理学療法士によるPT相談の専門相談があり、その相談内容に応じて、必要な個別訓練等につなげている。また、相談支援専門員による計画相談では、アセスメント、コーディネート等により、子どもがニーズに即したサービスを受けられるよう対応している。さらに、家庭の状況に応じて、就学後の相談先として学校や教育機関、子ども家庭支援センター等の関係機関と連携する等、子ども・保護者それぞれへの支援に取り組んでいる。        |
| No. | さらなる改善が望まれる点 |  |
| 1   | タイトル         | 前年度の総括を踏まえ当該年度の方向性等を明確にするとともに具体的な取り組みを明示した事業計画の策定が望まれる   |
|     | 内容           | 事業計画は職員が参画して、3月に次年度の取り組みや課題について話し合い、策定しており、組織目標と実施事業の概要や安全管理・苦情解決、災害対策、地域との連携等について簡潔に記載している。法人として統一した書式に基づき作成されているが、前年度の総括から導き出された課題や方針が確認できるような書式の工夫が望まれる。また、年度途中での達成度合いや進捗状況等の確認をしやすくするために、組織目標に対する具体的な取り組みや実施体制及びスケジュール等を明示した、実践的な計画の策定にも期待したい。               |
| 2   | タイトル         | リスク対策に積極的に取り組んでいるが同様の事象が繰り返される実状があるため、改善策を検証して実効性を高められたい   |
|     | 内容           | 緊急安全確保マニュアルや防災マニュアルを整備し、避難訓練や事故防止対策等に積極的に取り組み、緊急安全確保マニュアルの中では、子どもにかかる事故の対応手順として、事前予防や活動中・屋外での活動中に発生した事故への対応が示されている。事故予防を図るために、ヒヤリハット・事故報告で事例を集め、改善策の検討、共有を図っている一方、軽微な内容ではあるが同様の事故が繰り返される状況が見受けられる。改善策を講じた後も実施状況を定期的に検証する等の対応により実効性を高め、子ども・保護者にとっての安心安全を担保されたい。   |
| 3   | タイトル         | 事業所における事業内容、しくみ等について保護者へ「わかりやすさ」を念頭に置いた伝達方法のさらなる工夫が期待される   |
|     | 内容           | 市や法人のホームページ、パンフレット等の他、利用開始時に重要事項説明書等によって事業内容の説明を保護者へ行っている。また、保護者会や保育参観、個人面談等の機会に、理念や基本方針をはじめ支援で大切にしていること等を伝え、療育の実践を通して子ども・保護者からは高い満足度が得られていることが利用者調査結果からもうかがえる。一方で、一部、専門的な話はわかりづらい、早めに就学の流れ等の説明をしてほしい等の声もあるため、事業内容、しくみ等について保護者へ「わかりやすさ」を念頭に置いたさらなる伝達方法の工夫が期待される。 |

児童発達支援センター

【2017年 利用者調査集計結果】

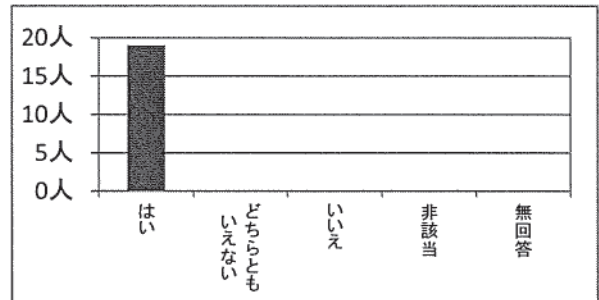
|      |       |
|------|-------|
| 回答者数 | 19人   |
| 総数   | 22人   |
| 回答率  | 86.4% |

|     |                                   |
|-----|-----------------------------------|
| 施設名 | 小金井市児童発達支援センターきらり<br>-児童発達支援センター- |
|-----|-----------------------------------|

《サービスの提供》

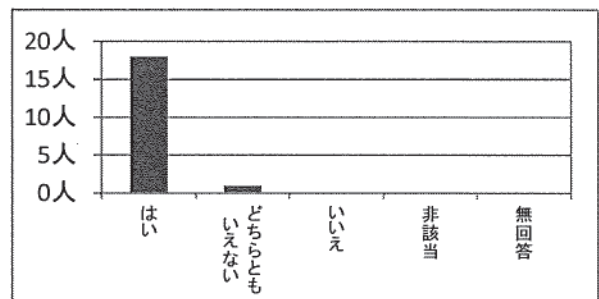
問1. 事業所に通うことが、お子さんの身体機能や健康状態に良い影響を与えていると思いますか

|           |     |        |
|-----------|-----|--------|
| はい        | 19人 | 100.0% |
| どちらともいえない | 0人  | 0.0%   |
| いいえ       | 0人  | 0.0%   |
| 非該当       | 0人  | 0.0%   |
| 無回答       | 0人  | 0.0%   |



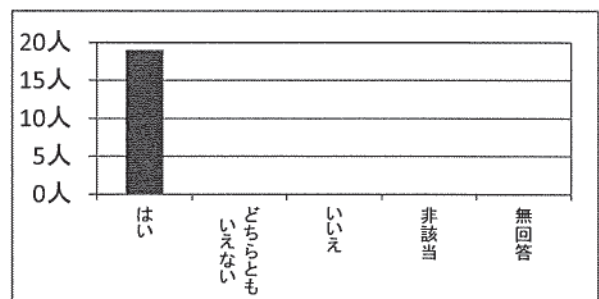
問2. 事業所での活動は、お子さんが興味や関心を持てるものになっていると思いますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 18人 | 94.7% |
| どちらともいえない | 1人  | 5.3%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| 非該当       | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



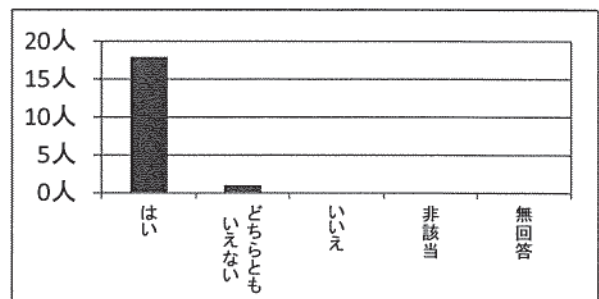
問3. 事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につけるなど)の役に立っていると思いますか

|           |     |        |
|-----------|-----|--------|
| はい        | 19人 | 100.0% |
| どちらともいえない | 0人  | 0.0%   |
| いいえ       | 0人  | 0.0%   |
| 非該当       | 0人  | 0.0%   |
| 無回答       | 0人  | 0.0%   |



問4. 事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルールなど)が身につけてきたと思いますか

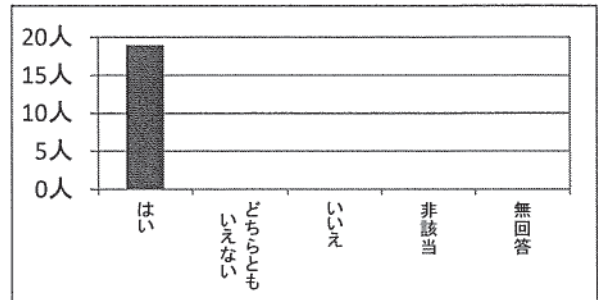
|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 18人 | 94.7% |
| どちらともいえない | 1人  | 5.3%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| 非該当       | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |





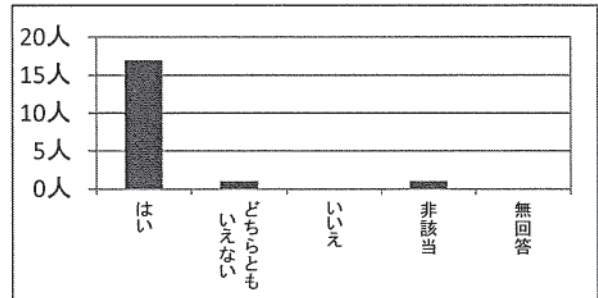
問5. お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、事業所と情報共有できていますか

|           |     |        |
|-----------|-----|--------|
| はい        | 19人 | 100.0% |
| どちらともいえない | 0人  | 0.0%   |
| いいえ       | 0人  | 0.0%   |
| 非該当       | 0人  | 0.0%   |
| 無回答       | 0人  | 0.0%   |



問6. ご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供など)は役に立っていると思いますか

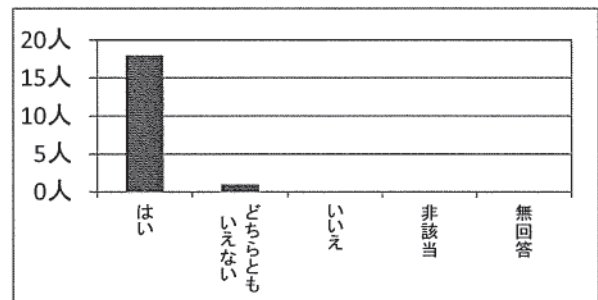
|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 17人 | 89.5% |
| どちらともいえない | 1人  | 5.3%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| 非該当       | 1人  | 5.3%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



《安心・快適性》

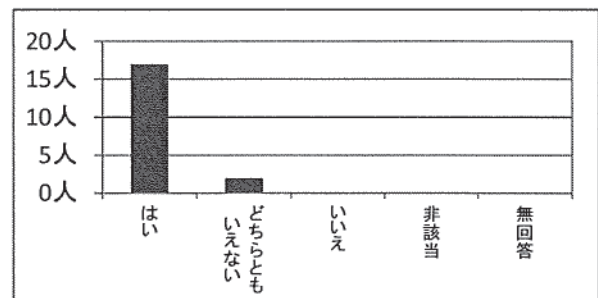
問7. 生活スペースは清潔で整理された空間になっていると思いますか(食事場所、トイレなど)

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 18人 | 94.7% |
| どちらともいえない | 1人  | 5.3%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| 非該当       | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



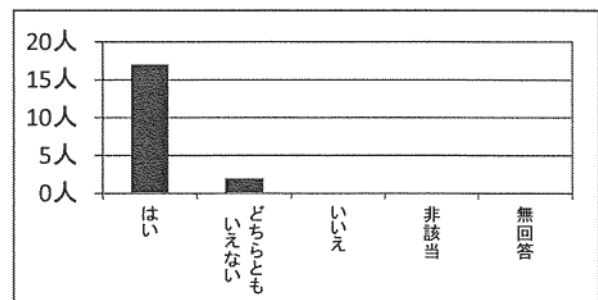
問8. 職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 17人 | 89.5% |
| どちらともいえない | 2人  | 10.5% |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| 非該当       | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



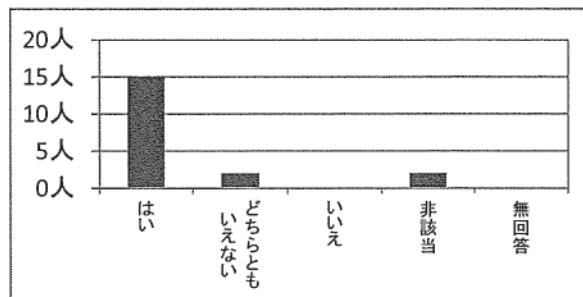
問9. お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 17人 | 89.5% |
| どちらともいえない | 2人  | 10.5% |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| 非該当       | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



問10. 子ども同士のトラブル(いさかやいじめなど)があった場合の、職員の対応は信頼できますか

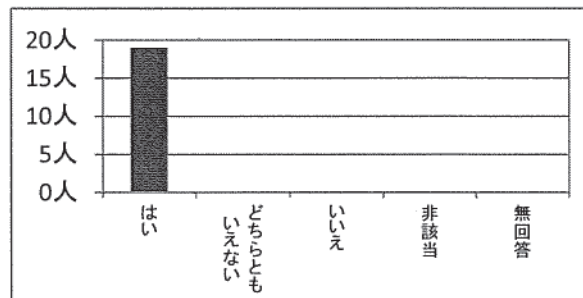
|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 15人 | 78.9% |
| どちらともいえない | 2人  | 10.5% |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| 非該当       | 2人  | 10.5% |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



《利用者個人の尊重》

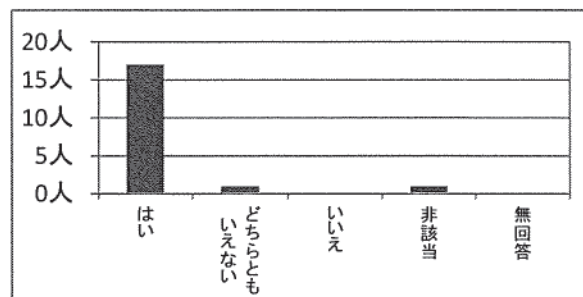
問11. 職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

|           |     |        |
|-----------|-----|--------|
| はい        | 19人 | 100.0% |
| どちらともいえない | 0人  | 0.0%   |
| いいえ       | 0人  | 0.0%   |
| 非該当       | 0人  | 0.0%   |
| 無回答       | 0人  | 0.0%   |



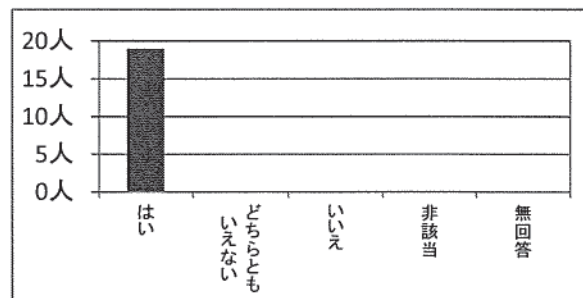
問12. お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 17人 | 89.5% |
| どちらともいえない | 1人  | 5.3%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| 非該当       | 1人  | 5.3%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



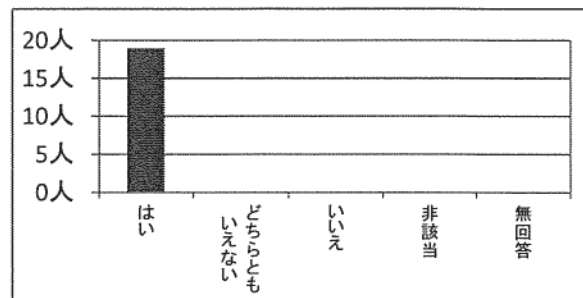
問13. お子さんの支援に関する計画を作成したり見直しをする際に、職員はお子さんやご家族の状況や要望を聞いてくれますか

|           |     |        |
|-----------|-----|--------|
| はい        | 19人 | 100.0% |
| どちらともいえない | 0人  | 0.0%   |
| いいえ       | 0人  | 0.0%   |
| 非該当       | 0人  | 0.0%   |
| 無回答       | 0人  | 0.0%   |



問14. お子さんの計画や支援内容など事業所での生活についての職員の説明はわかりやすいと思いますか

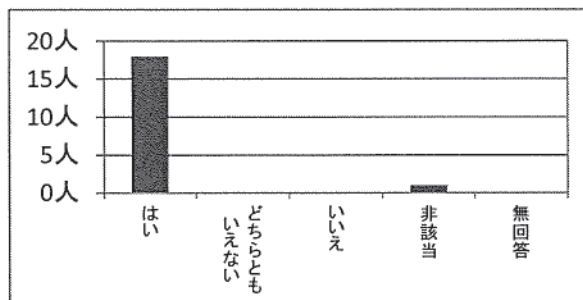
|           |     |        |
|-----------|-----|--------|
| はい        | 19人 | 100.0% |
| どちらともいえない | 0人  | 0.0%   |
| いいえ       | 0人  | 0.0%   |
| 非該当       | 0人  | 0.0%   |
| 無回答       | 0人  | 0.0%   |



《要望・不満への対応》

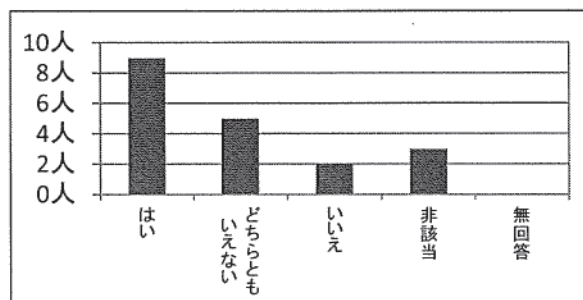
問15. 要望や不満を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 18人 | 94.7% |
| どちらともいえない | 0人  | 0.0%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| 非該当       | 1人  | 5.3%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



問16. 事業所では、あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか

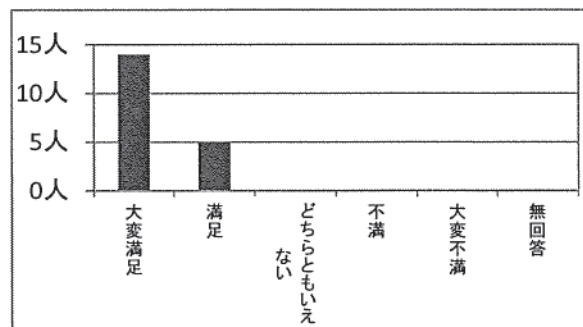
|           |    |       |
|-----------|----|-------|
| はい        | 9人 | 47.4% |
| どちらともいえない | 5人 | 26.3% |
| いいえ       | 2人 | 10.5% |
| 非該当       | 3人 | 15.8% |
| 無回答       | 0人 | 0.0%  |



《総合的な感想について》

[1]現在利用している事業所を総合的に見て、どのように感じていらっしゃいますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| 大変満足      | 14人 | 73.7% |
| 満足        | 5人  | 26.3% |
| どちらともいえない | 0人  | 0.0%  |
| 不満        | 0人  | 0.0%  |
| 大変不満      | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



[2] → 別紙あり

[3] → 別紙あり

「小金井市児童発達支援センターきらり」  
利用者 各問ヒアリング回答&自由意見

《サービスの提供》

- 問1. 事業所に通うことが、お子さんの身体機能や健康状態に良い影響を与えていると思いますか
- ・ 規則正しいリズムとバランスの良い食事、社会性が育まれます。
  - ・ 大人とのコミュニケーションが、よくとれるようになりました。
  - ・ 一人ひとりに合わせた指導をしてくださるので、できることが増えました。
- 問2. 事業所での活動は、お子さんが興味や関心を持てるものになっていると思いますか
- ・ 毎日の連絡帳に活動内容を書いています。が、詳しい内容が書かれていないので、大体はわかりませんが…。具体的な活動内容がわかりません。
  - ・ 事業所で活動したことを家でもやっています。
  - ・ 園でしたことを、家でもきょうだいに対して幼稚園ごっこをしており、とても楽しそうです。
- 問3. 事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につけるなど)の役に立っていると思いますか
- ・ 特に自己肯定感を持てるよう対応していただけて、何度も救われています。
  - ・ 子どもの情緒面を親が知らない部分まで細かく分析して配慮してくれていて、こちらも勉強になります。
- 問4. 事業所に通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルールなど)が身についてきたと思いますか
- ・ 大人(先生方)とのかかわり方はとても身に付いたと思います。子ども達同士は少し身に付いたかなと思います。
  - ・ 身に付くまでは時間が必要だと思います。
  - ・ 本人が人と人のかかわり合いの中でしてしまうことに対して、しっかり指導してくださっています。
- 問5. お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、事業所と情報共有できていますか
- ・
- 問6. ご家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供など)は役に立っていると思いますか
- ・ 進路相談など相談にのっていただきありがたいです。転園するときの手順など、具体的に(いつが良い、どういうところが良いなど明確に教えて…)知っていられればありがたいです。

《安心・快適性》

問7. 生活スペースは清潔で整理された空間になっていると思いますか(食事場所、トイレなど)

.

問8. 職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと思いますか

- ・ 子どもの名前を記名した後に“さん”を書いてくださり、丁寧さを感じます。

問9. お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか

- ・ ちょっとした傷を見つけても丁寧に本人の様子などを教えていただけます。

問10. 子ども同士のトラブル(いさかいやいじめなど)があった場合の、職員の対応は信頼できますか

.

《利用者個人の尊重》

問11. 職員は、お子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

- ・ とても感謝しています。

問12. お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか

.

問13. お子さんの支援に関する計画を作成したり見直しをする際に、職員はお子さんやご家族の状況や要望を聞いてくれますか

- ・ 要望のみならず、悩みや心配事を聞いてくださるので信頼できます。

問14. お子さんの計画や支援内容など事業所での生活についての職員の説明はわかりやすいと思いますか

- ・ 具体的にお話ししてくださるとありがたいです。たくさん話がしたいです。専門的な話はわかりづらいので…。(時間は限られていると思いますが…)

《不満・要望への対応》

問15. 要望や不満を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか

.

問16. 事業所では、あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか

- ・ 困ったと思うことがなかったので、聞いたことはありませんが、本当に困った時にはわかりやすく説明してくれると思います。
- ・ 困ったときなど、どうしたらよいか教えていただきました。

《自由意見》

[2][1]で答えた理由や日頃お感じになっている事業所に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

- ・ 親の要望に応じてくれます。話も聞いてくれ、感謝しています。
- ・ 利用し始める前に思っていたより、先生方の対応や日々の内容全てが想像以上のものであり、とても手厚くみていただいていると感じています。安心して子どもを預けられ、何でも相談できる先生方がいて、とても頼りになります。親同士の交流もでき、通えて良かったと家族で感じています。
- ・ こちらが想定している以上の支援サービス精神で、いつも丁寧に対応していただけることに大変満足しています。私達保護者に寄り添っていただき、大きな信頼を置いています。強いて言えば、放課後デイサービスの送迎バス、児童発達支援(通園)の延長保育の融通がもう少しきくと助かります。きょうだいの学校行事と重なったときなど、家族間で対応しきれない状況に合い、困っている家族もいらっしゃいます。
- ・ 年長になったときに、就学についての流れなど先に説明してもらえるとありがたかったです(市の説明会に出られなかったので)。就学前相談の予約など、面談のときに教えてもらいましたが、もう予約もスタートしていました。説明会にはきちんと出た方がよいこと、市報に載ること(就学前相談)、何が何だかわからず、ついていくのに大変でした。
- ・ 先生方はいつも子どものことをよくみてくださり、親よりも早く気づいてくれることもあります。その子の特性、こちらの要望を積極的に叶えようと動いてくれます。いつもお世話になりっぱなしで、本当にありがたいです。きらりのアットホームな雰囲気がいつまでも続いてくれるといいなと思います。
- ・ 子どもを第一に考えてくださり、とても感謝しています。親の意見もすぐに取り入れてくださったり、心のサポートまでしてくださって、本当に精神的にも助けられています。きらりという素晴らしい場所に通えて、本当に良かったです。先生方には感謝しかありません。
- ・ 事業所に対しては特にはないですが、利用料金の設計について、高額所得者が(既に多額の所得税や住民税を納めているのに)何倍も高い利用料であるのは、到底納得できません。
- ・ 子どもにも親にも丁寧な対応をしてくださり、全てに満足しています。
- ・ 子どもの成長した点をきめ細やかに見つけて、伝えてくれます。今後、直していきたい点についても現状と方向性を示してくれて、事業所を信頼することができます。
- ・ 健常児の子育てをしたことがないので、どこが違うとかよくわかりませんが、自分一人だと家にいることが多くなってしまおう分(立つことがまだだったり、荷物が多くて)、送迎もありで規則正しい生活と親以外の大人と接したり、お友達とかかわること(同年代の健常児とは遊ぶメニューが違うので)ができて、私が一番安心しています。その信頼する気持ちや安心が子どもにも伝わるので、とても良い状況で通えていると思います。参観もありますが、好きなタイミングで通園生活を観たり、先生と相談できるのが何より自分が納得でき、心配が減ります。親の私にとって良い存在となっています。
- ・ 職員の皆さんは、とても丁寧に対応してくれて、安心できます。
- ・ 通園を利用させてもらっていますので、他のサービス事業に関してはわからない点もあるのですが、待機されている人も多いと聞きますので、もう少し改善されるとよいな、と思います。通園に関しては満足しています。
- ・ 事業所と役所の連携は概ね良いと思うのですが、書類の申請、受給者証の申請など、少し手間取るような気がします。お忙しいとは思いますが、もう少し改善されるとよいと思います。

- ・ 先生方と直接話したり、相談できる機会(参観や面談)を多く設けてくださるので、不安もなく通園できています。
- ・ 人それぞれ療育、成長の度合が違うので、それぞれ、(自分)に対しよく接していただきました。ありがとうございます。
- ・ 延長保育の制度があるのはありがたいですが、きょうだいの公的な検診、保護者会に限られているのは不満に思っています。近所の友人に預かってくださいと言いつらいタイプの子どもなので、有料でもかまわないので、もう少し許容範囲を広げてほしいです。きょうだいの予防接種や歯科検診も気軽に行けなくて困っています。

[3] 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

- ・ 特にはないですが、ここに通わせてもらっている子ども達をもっと生きやすい世の中になりますように、心の底から願っています。
- ・ 質問項目が少ないのか、ざっくりしているというか、そう感じます。自ら立ち上がらないと意見が言いにくい中で、せつかくの機会なので、自由意見を必ず書かせるような造りにしたいと思います。私も書きたい思いはたくさんありますが、「はい/いいえ」で済んでしまうとそれだけになっている気がします。よろしく願いいたします。

## 放課後等デイサービス



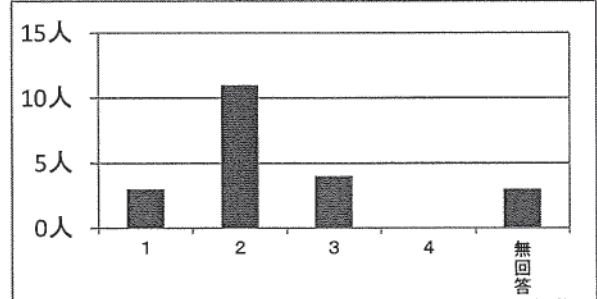
【2017年度 利用者調査集計結果】

|      |       |
|------|-------|
| 回答者数 | 21人   |
| 総数   | 50人   |
| 回答率  | 42.0% |

|     |                                   |
|-----|-----------------------------------|
| 施設名 | 小金井市児童発達支援センターきらり<br>-放課後等デイサービス- |
|-----|-----------------------------------|

最初に、調査票に回答された方はどなたかお聞かせください

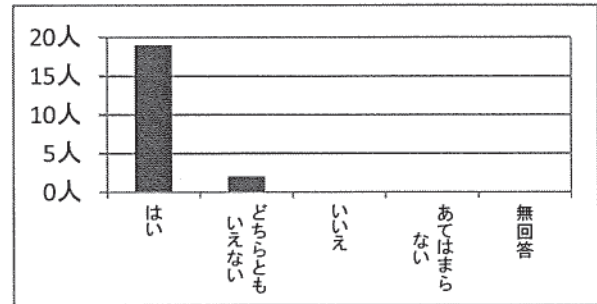
|                |     |       |
|----------------|-----|-------|
| 1 サービス利用者本人    | 3人  | 14.3% |
| 2 本人が家族や介助者と相談 | 11人 | 52.4% |
| 3 家族が本人の気持ちを推察 | 4人  | 19.0% |
| 4 その他          | 0人  | 0.0%  |
| 無回答            | 3人  | 14.3% |



《支援の提供》

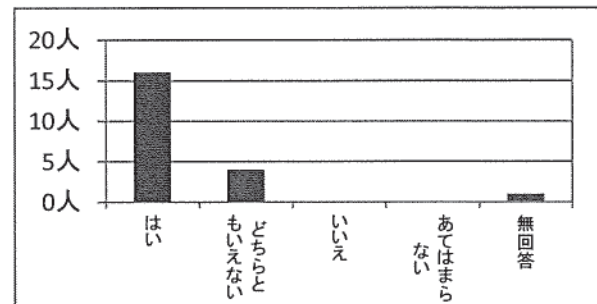
問1. ここでの活動や遊びは楽しく、興味が持てますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 19人 | 90.5% |
| どちらともいえない | 2人  | 9.5%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



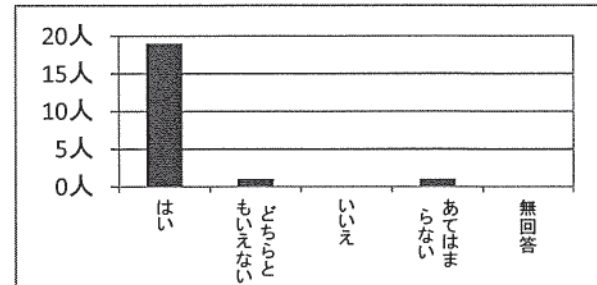
問2. ここで友達と一緒にいると楽しいですか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 16人 | 76.2% |
| どちらともいえない | 4人  | 19.0% |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 1人  | 4.8%  |



問3. 職員はあなたと話をしたり、困ったときの相談にのってくれたりしますか

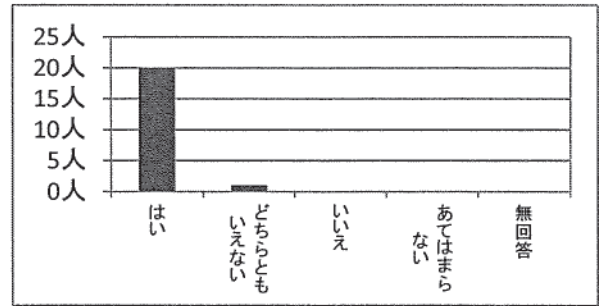
|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 19人 | 90.5% |
| どちらともいえない | 1人  | 4.8%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 1人  | 4.8%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



《安心・快適性》

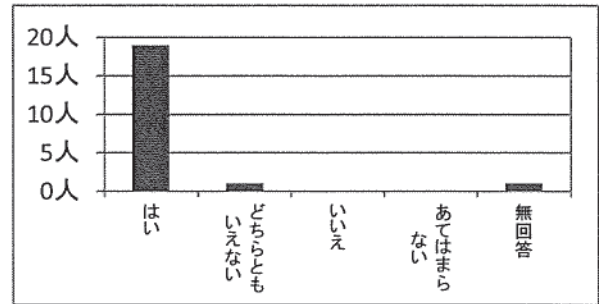
問4. 生活スペースは清潔で整理整頓された空間になっていると思いますか(食事をする場所、トイレなど)

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 20人 | 95.2% |
| どちらともいえない | 1人  | 4.8%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



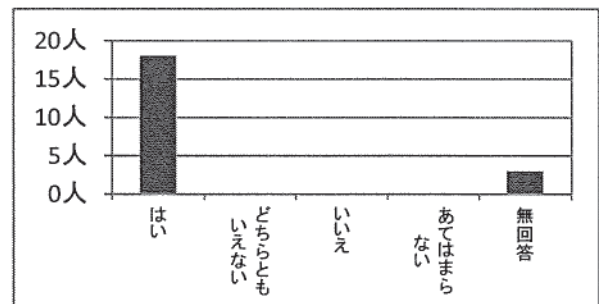
問5. 職員の言葉遣いや態度、服装などはきちんとしていると思いますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 19人 | 90.5% |
| どちらともいえない | 1人  | 4.8%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 1人  | 4.8%  |



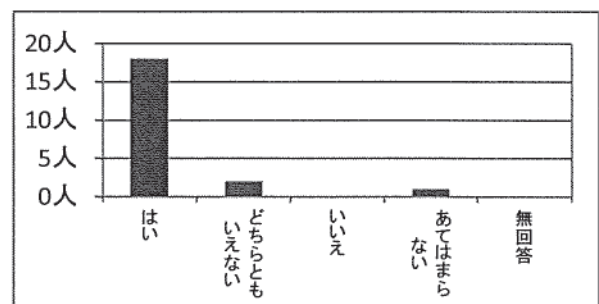
問6. けがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼(安心)できますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 18人 | 85.7% |
| どちらともいえない | 0人  | 0.0%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 3人  | 14.3% |



問7. 子ども同士のトラブル(いさかいやいじめなど)があった場合の、職員の対応は信頼(安心)できますか

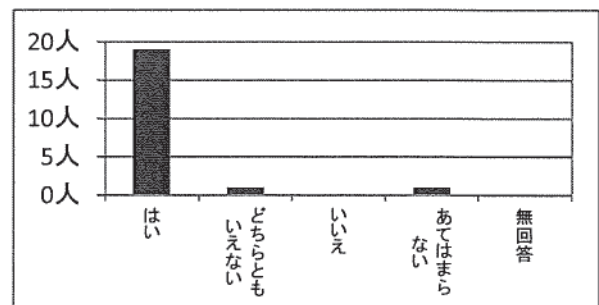
|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 18人 | 85.7% |
| どちらともいえない | 2人  | 9.5%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 1人  | 4.8%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



《個人の尊重》

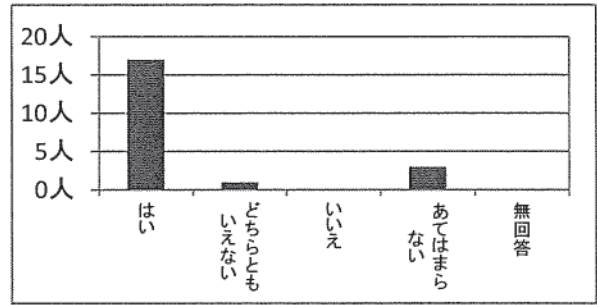
問8. 職員は、あなたの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 19人 | 90.5% |
| どちらともいえない | 1人  | 4.8%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 1人  | 4.8%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



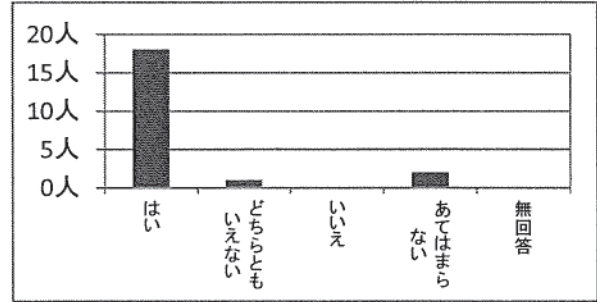
問9. あなたのプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 17人 | 81.0% |
| どちらともいえない | 1人  | 4.8%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 3人  | 14.3% |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



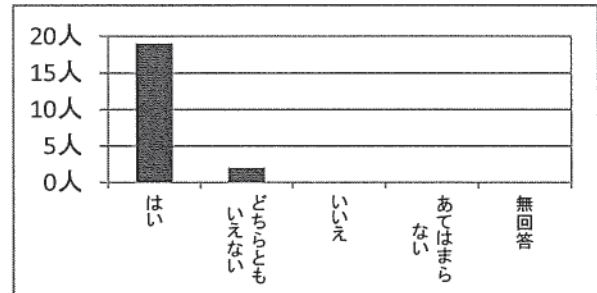
問10. あなたの支援に関する計画(目標)を作成したり見直しをする際に、職員はあなたやご家族の状況や要望を聞いてくれますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 18人 | 85.7% |
| どちらともいえない | 1人  | 4.8%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 2人  | 9.5%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



問11. あなたの計画や支援内容についての職員の説明は、わかりやすいと思いますか

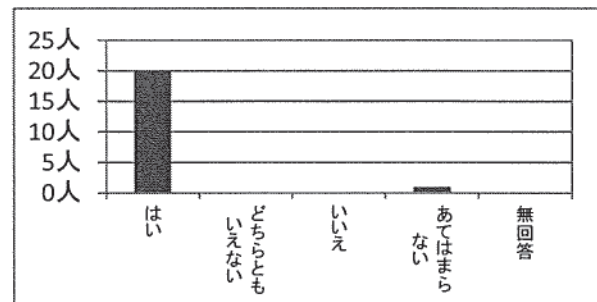
|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 19人 | 90.5% |
| どちらともいえない | 2人  | 9.5%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



《要望・不満への対応》

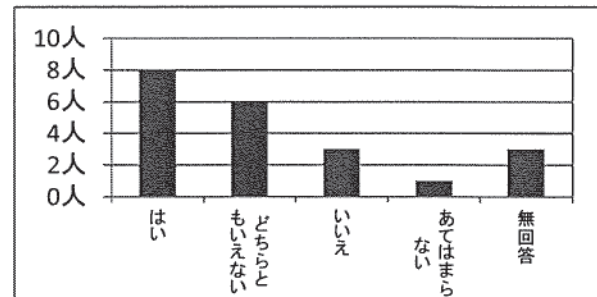
問12. 要望(やってほしいこと)や不満(いやなこと、困ったこと)を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| はい        | 20人 | 95.2% |
| どちらともいえない | 0人  | 0.0%  |
| いいえ       | 0人  | 0.0%  |
| あてはまらない   | 1人  | 4.8%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



問13. ここでは、あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか

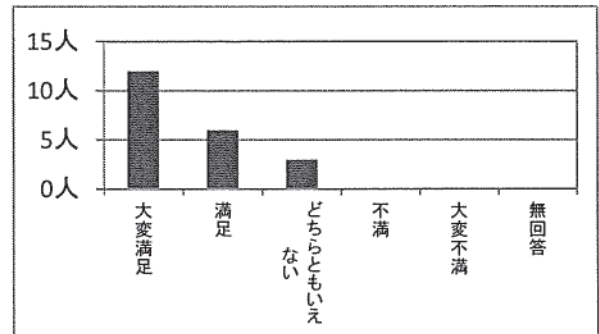
|           |    |       |
|-----------|----|-------|
| はい        | 8人 | 38.1% |
| どちらともいえない | 6人 | 28.6% |
| いいえ       | 3人 | 14.3% |
| あてはまらない   | 1人 | 4.8%  |
| 無回答       | 3人 | 14.3% |



### 《総合的な感想》

ここでの生活を総合的に見て、どのように感じていらっしゃいますか

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| 大変満足      | 12人 | 57.1% |
| 満足        | 6人  | 28.6% |
| どちらともいえない | 3人  | 14.3% |
| 不満        | 0人  | 0.0%  |
| 大変不満      | 0人  | 0.0%  |
| 無回答       | 0人  | 0.0%  |



[2] → 別紙あり

[3] → 別紙あり

「小金井市児童発達支援センターきらり」  
利用者 各問ヒアリング回答&自由意見

《支援の提供》

問1. ここでの活動や遊びは楽しく、興味が持てますか

・

問2. ここで友達と一緒にいると楽しいですか

- ・ まあ、楽しいです。
- ・ 友達がたくさんいると楽しいです。
- ・ 去年は仲の良い友達がいたので楽しかったけれど、今年はいじめの子がいるので楽しくないこともあります。

問3. 職員はあなたと話をしたり、困ったときの相談にのってくれたりしますか

- ・ 相談をしたことがないです。(あてはまらないと回答)
- ・ のってくれる先生と、いじめてくる友達の話ばかり聞く先生がいます。

《安心・快適性》

問4. 生活スペースは清潔で整理整頓された空間になっていると思いますか(食事をする場所、トイレなど)

・

問5. 職員の言葉遣いや態度、服装などはきちんとしていると思いますか

- ・ 毎週、清潔にしていると思います。

問6. けがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼(安心)できますか

- ・ 体調管理は自分でやります。

問7. 子ども同士のトラブル(いさかいやいじめなど)があった場合の、職員の対応は信頼(安心)できますか

- ・ のってくれる先生と、いじめてくる友達の話ばかり聞く先生がいます。

《個人の尊重》

問8. 職員は、あなたの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

・

問9. あなたのプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか

・

問10. あなたの支援に関する計画(目標)を作成したり見直しをする際に、職員はあなたやご家族の状況や要望を聞いてくれますか

.

問11. あなたの計画や支援内容についての職員の説明は、わかりやすいと思いますか

- ・ 今回の内容を先生が説明します。

#### 《要望・不満への対応》

問12. 要望(やってほしいこと)や不満(いやなこと、困ったこと)を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか

.

問13. ここでは、あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか

.

#### 《自由意見》

[2][1]で答えた理由や日頃お感じになっている保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

- ・ ○○くんたまに意地悪されるから。(どちらともいえないと回答)
- ・ 気になることがあれば本人より詳しく聞くとともに、職員にも相談させていただいています。
- ・ 「大変満足」です。どうしてかというと、楽しいゲームや楽しい運動をしてくれるからです。いつもゲームや運動をしてくれて、ありがとうございます。
- ・ 小学校に入って不安な点、課題と思われる点を相談すると、親身に聞いてくださり、活動にいかして下さることもあります。スタッフが多く、活動時間も長い、民営の療養機関の費用負担がとても重い中、きりりのように安価で通えるのは、良い意味で保護者が通いやすく、本当にありがたいです。学校では緊張している我が子が、ゆったり安心して自分らしく通える場所です。ありがとうございます。
- ・ 楽しいから。(大変満足と回答)
- ・ 祝日もやっていただけるとありがたいです。
- ・ 子どもはきりりが大好きです。安心して自由にいられる場所のようです。親としても子どもがただ楽しいだけでなく、先生達の丁寧なご指導で、一步一步成長しているのを感じます。とても感謝しています。
- ・ 毎週通うきりは、皆勤賞(無欠勤)で通っています。
- ・ 楽しいから。(大変満足と回答)
- ・ 職員の皆さんが温かく子どもの気持ちに寄り添って話しかけてくださる姿を見て、子どもも自分(家族)も安心して通うことができます。
- ・ 学校の宿題の量によっては両立が難しく感じることもあるため、宿題をやる時間があるといいなと思います。
- ・ 友達も職員も仲良くしてくれるから。(大変満足と回答)
- ・ その季節や時期にちなんだイベントがあるのが楽しいです。

- ・ 職員の方々はそのとき必要なアドバイスを適宜してくれます。心理的にも寄り添ってくれるのありがたいです。
- ・ きらりに通うよりも、趣味のサッカーや友達と遊ぶ時間にあてたい、と本人は言っております。

[3] 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

・

# 小金井市児童発達支援センター きらり 業務評価報告書(平成29年度)



小金井市児童発達支援センター運営協議会 編

平成30年3月



# 目次

|      |                               |    |
|------|-------------------------------|----|
| 1    | 運営協議会の目的 .....                | 2  |
| 2    | 運営協議会の協議内容 .....              | 3  |
| 3    | 評価する事業及び方法等 .....             | 5  |
| 4    | 協議会委員による評価 .....              | 7  |
| 5    | 利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業） ..... | 19 |
| 6    | 課題の整理 .....                   | 25 |
| 7    | 総括 .....                      | 26 |
| 参考資料 |                               |    |
|      | 小金井市児童発達支援センター運営協議会規則 .....   | 1  |
|      | 小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿 ..... | 3  |
|      | 平成29年度講演会・研修会開催実績 .....       | 4  |
|      | 平成29年度利用実績一覧 .....            | 5  |



# 1 運営協議会の目的

平成25年10月1日開設した小金井市児童発達支援センター「きらり」(以下「きらり」という。)の運営について議論・確認をするため、児童発達支援センター運営協議会(以下「協議会」という。)を設置しています。「きらり」の利用者及び関係者の意見を反映し、適正な管理及び運営が図られているか検証し、利用者へのサービスの向上を図ることが目的です。

## 協議会の所掌事項



## 協議会の委員構成

|             |    |
|-------------|----|
| センター利用者の保護者 | 3人 |
| 市内関係団体代表    | 4人 |
| 学識経験者       | 2人 |
| 関係行政機関の職員   | 3人 |

## 2 運営協議会の協議内容

| 回 | 開催日       | 議論内容   |
|---|-----------|--|
| 5 | 平成29年5月9日 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 平成28年度の実績報告</li> <li>3 業務評価報告書（平成28年度）について</li> <li>4 平成29年度の予定等について</li> <li>5 事務局からの報告事項               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 処遇改善加算の利用者説明について</li> <li>(2) 教育委員会との連携について</li> <li>(3) 次回講演会の開催案内について</li> </ol> </li> <li>6 今後の開催日程について</li> <li>7 その他</li> <li>8 閉会</li> </ol>  |
| 6 | 平成29年8月8日 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 平成29年7月までの実績報告</li> <li>3 事務局からの報告事項               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 処遇改善加算に係る利用者負担金増額に関する利用者への説明について</li> <li>(2) 講演会・研修会の開催報告</li> <li>(3) 第三者評価事業者の違反報告について</li> <li>(4) ポスターの作成及び配布について</li> <li>(5) 平成30年度利用者の募集日程予定について</li> <li>(6) 次回講演会の開催案内</li> </ol> </li> <li>4 運営協議会委員による事業評価について</li> <li>5 今後の開催日程について</li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol> |

|   |            |   |
|---|------------|---|
| 7 | 平成29年11月7日 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 平成29年10月までの実績報告</li> <li>3 事務局からの報告事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 他機関との連携について</li> <li>(2) 講演会・研修会の開催報告</li> <li>(3) 保育所等訪問支援事業の事例紹介について</li> <li>(4) 次回研修会の開催案内</li> <li>(5) 平成28年度の第三者評価結果について</li> <li>(6) 委員謝礼に係る源泉徴収票の取扱いについて</li> </ol> </li> <li>4 運営協議会委員による事業評価について</li> <li>5 来年度の主催講演会・研修会について</li> <li>6 次期の運営協議会の体制について</li> <li>7 今後の開催日程について</li> <li>8 その他</li> <li>9 閉会</li> </ol> |
| 8 | 平成30年3月13日 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 平成30年2月までの実績報告</li> <li>3 事務局からの報告事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童発達支援事業の定員について</li> <li>(2) 施設長の変更について</li> <li>(3) 研修会の開催報告について</li> <li>(4) 平成30年度報酬改定について</li> </ol> </li> <li>4 平成29年度第三者評価結果について</li> <li>5 業務評価報告書（平成29年度）について</li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>  |

### 3 評価する事業及び方法等

#### (1) きらりで実施している事業

##### 相談支援事業

- ・「きらり」を利用する際の入り口です。保護者の希望、児童の状況を考えて、次の支援につなげます。また、専門的な相談が必要な児童には専門相談を実施します。

##### 児童発達支援事業

- ・保護者と離れ、日常生活に必要な基本的な生活習慣の自立を図り、社会への適応を促す療育を行います。週5日の通園事業です。

##### 放課後等デイサービス事業

- ・小学校に在籍する児童に対し、放課後の時間を利用して、必要な支援や居場所を確保することで、生活能力向上や自立を促します。

##### 保育所等訪問支援事業

- ・保護者からの要望に応じて施設へ訪問し、児童が集団生活に適応できるよう、支援していきます。

##### 外来訓練事業

- ・保育施設や幼稚園に籍を置く児童に対し、専門的な訓練を提供し、自立や社会への適応力を促します。

##### 親子通園事業

- ・幼児との関わり方や遊びを通して、保護者における適切な幼児との関わり方の習得を促します。

※評価する事業は児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、外来訓練事業、親子通園事業とする。

(2) 評価方法

以下の評価項目について、5段階の基準により評価を行う。

<評価項目>

|    |                         |
|----|-------------------------|
| 1  | 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？      |
| 2  | 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？   |
| 3  | 事業計画に沿った運営がされているか？      |
| 4  | 清潔に保たれているか？             |
| 5  | 事故の無いように配慮されているか？       |
| 6  | 事業内容を十分理解しているか？         |
| 7  | 質問に明確に答えられているか？         |
| 8  | 働きやすい現場となっているか？         |
| 9  | 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？ |
| 10 | 総合評価                    |

※6～9は職員へのヒアリングを実施

<評価基準>

|           |
|-----------|
| 十分である     |
| 概ね十分である   |
| どちらともいえない |
| やや不十分である  |
| 不十分である    |

※評価理由について記載がある場合は掲載



## 4 協議会委員による評価

### 児童発達支援事業 (評価者数 7人)

#### 1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 7 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・活動中は目を離さず子供達と同じように動いているので安心して職員に任せることが出来る。  
・子供の状況に合わせたカリキュラムの流れを構築しており感心しました。

#### 2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 5 |
| 概ね十分である   | 2 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・安心した様子でカリキュラムを受けており、笑顔が多く見学する側も楽しくなりました。

概ね十分である

・笑顔がたくさん見られ、楽しく活動していた。

#### 3 事業計画に沿った運営がされているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 6 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・年齢別にクラス分けし、その成長度に沿った内容を実施していた。

#### 4 清潔に保たれているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 6 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・トイレを含め、清潔に保たれている。  
・とてもきれいな状態でした。

5 事故の無いように配慮されているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 5 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 1 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・職員体制が充足されてており、事故防止に努めていた。  
・対応している職員数も十分であるように思う。

概ね十分である

・おもちゃを投げている子供がいたのでけがのないように対応してほしい。

どちらともいえない

・見学時に確認できる場面がなかった。

6 事業内容を十分理解しているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 7 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・目的、事業の現状等しっかりと理解されていた。

7 質問に明確に答えられているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 6 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・わかりやすい回答だった。

8 働きやすい現場となっているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 7 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・介護休暇制度を使えるなど、職員への配慮が感じられる、長く働ける環境を更に整えてほしい。  
・介護休暇がしっかりと取得できる職場。



9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

評価理由

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 6 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

十分である

・連絡帳や電話対応で個別の対応も出来ている。  
 ・登退園時を含め十分に配慮されている。  
 ・手紙、電話等で十分な回数なされているように思う。  
 ・登園時に児のみならず、保護者方の様子にも気配り(目配り)をされていることに驚きました。今後も寄り添いながらの支援をお願いします。

10 総合評価

評価理由

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 5 |
| 概ね十分である   | 2 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

十分である

・熱意を持って事業を実施している。

その他(自由意見)

・通園希望者が多く待機者が多いという理由が改めてわかった気がする。  
 ・クリスマス会の練習を拝見しました。発表の中に“トンネルをくぐる”“台にのぼる”“あいさつをする”“イスに静かに座る”“鈴をもって音を楽しむ”など日常保育の中で課題にしている事、できる様になった事を組みこみ、1人1人の子供達が主役になれるプログラムを作っていました。職員の業務への取りくみ、熱意を感じました。  
 ・施設の使い方(2F)について、現場の希望と差がある点が残念です。現場の希望を取り入れてほしい。  
 ・全てがきちんとしていて、子供たちの表情もよく、良い環境だと感じた。  
 ・個々に目標を設定して指導されている様子です。

## 放課後等デイサービス事業 (評価者数 4人)

### 1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

評価理由

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 4 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

十分である

・様々な質問に根気よく顔を見てゆっくり答えていた。

### 2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

評価理由

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 2 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 1 |

十分である

・何をやるのか、興味を持って集中して聞いていた。お友達と同じ作業を行うことを嬉しそうにしていた。

### 3 事業計画に沿った運営がされているか？

評価理由

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 1 |
| 概ね十分である   | 2 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 1 |

十分である

・されています。

### 4 清潔に保たれているか？

評価理由

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 3 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

十分である

・ゴミ一つ落ちてない。

5 事故の無いように配慮されているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 3 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・とてもいねいにクラスの移動をしていた。準備もよく考えられているため、事故は無いように感じた。

6 事業内容を十分理解しているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 4 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・理解されてました。

7 質問に明確に答えられているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 4 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・とても明確に答えていました。

8 働きやすい現場となっているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 1 |
| 概ね十分である   | 3 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・職員間の共有が難しいこともあるようですが、工夫しているようです。

概ね十分である

・人員が不足している。特性の子供達対応が大変。

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 4 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・デリケートな業務をよく考えて、実施していることが伺えた。

10 総合評価

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 3 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・子供が生き生きしていました。

その他(自由意見)

・とんかちという難しい、また少し危険も伴う道具を使って、子どもたちがとても楽しそうに活動をしていました。先生方の準備や計画等、配慮が至るところに感じられました。  
 ・状況に応じて、子どもたちがより集中できるよう、机の向きを変えるなど、短い時間の中でもすばやい対応があり感心しました。  
 ・職員の方が子ども達個々の問題に注意を払っている様子、説明も配慮が見られていた。

## 外来訓練事業

(評価者数 7人)

### 1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 7 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

- ・子供が集中できるように熱心に取り組んでいる。
- ・集中力やカリキュラム内容を達成するため、工夫をしながら取り組んでいる。
- ・とてもすっきりとしており、かつ目的に応じた環境だと感じた。
- ・熱心という言葉では足りないぐらいよくやられていた。

### 2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 6 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

- ・集中して活動できているのでとてもよい。
- ・集中し課題に取り組んでいる姿に驚きました。
- ・とてもすっきりとしており、かつ目的に応じた環境だと感じた。
- ・課題に取り組める様、工夫がされており、楽しさ感がよく伝わった。

### 3 事業計画に沿った運営がされているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 6 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

- ・されている。
- ・とてもすっきりとしており、かつ目的に応じた環境だと感じた。
- ・特性に沿った取り組みがされている。

### 4 清潔に保たれているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 5 |
| 概ね十分である   | 2 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

- ・きれいである。
- ・とてもすっきりとしており、かつ目的に応じた環境だと感じた。
- ・保たれている。

概ね十分である

- ・教室内は清潔だが、教材が次の授業で準備されているものなのか片付けが不十分なのかかわからないものがあったので、わかりやすく片付けてほしい。

5 事故の無いように配慮されているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 5 |
| 概ね十分である   | 2 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・配慮されている。  
 ・とてもすっきりとしており、かつ目的に応じた環境だと感じた。  
 ・子供たちが自由に活動する中での備品や職員体制など十分に配慮がされている。

概ね十分である

・床に置いてある教材があったので、つまづいて転ばないように片付けるなどの配慮が必要である。

6 事業内容を十分理解しているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 7 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・理解している。  
 ・回答もわかりやすくたくさんの対象親子に対する配慮を感じられた。  
 ・事業目的に沿った業務を行っており、理解している。

7 質問に明確に答えられているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 7 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・詳細な内容の回答でした。  
 ・回答もわかりやすくたくさんの対象親子に対する配慮を感じられた。  
 ・個別の案件にも明確な回答があった。

8 働きやすい現場となっているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 6 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・職員間の連携が出来ており働きやすいとのこと。  
 ・回答もわかりやすくたくさんの対象親子に対する配慮を感じられた。  
 ・子供の状態と職員配置が十分配慮されており、働きやすい。

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 6 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

- ・訓練後に保護者とのフィードバックの時間がよくとれているので良い。
- ・情報の共有がしっかりとされている。
- ・前後で伝える等確保されている。
- ・回答もわかりやすくたくさんを対象親子に対する配慮を感じられた。
- ・活動内容や個々の状況の報告がされている。

10 総合評価

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 5 |
| 概ね十分である   | 2 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

- ・とてもよい事業展開。
- ・発達支援という視点でその子にとって何が大切か、必要かということを認識して取り組んでいる姿勢がよくわかりました。

概ね十分である

- ・子供達はよく活動に取り組み、職員の対応もよくセンター内も清潔でよい。次年度も同じような対応を期待する。

その他(自由意見)

- ・子どもの集中できている訓練内容には感心しました。
- ・STとOTの訓練を拝見しました。子ども1人1人の課題を丁寧にとらえ、取り組んでいる様子が伝わりました。子供の興味・関心があるものを見つけ、そこをベースにして訓練を作っているのが職員の能力の高さを感じました。
- ・外来通園の回数が十分に確保されている。
- ・どの子どもも落ち着いて前向きに取り組んでいる様子で事業として成功しているのだと感じました。
- ・OTの設備がすばらしく、月3回の利用が継続されるとよいと感じた。
- ・設備が整っていると思います。実際の活動で目標を持って設定されている印象でした。

## 親子通園事業

(評価者数 3人)

### 1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

評価理由

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 3 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

十分である

・個々の子どもの特性に合わせ、待つという姿勢がとてもよかったです。

### 2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

評価理由

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 2 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

十分である

・楽しさの中に課題を達成していく姿が見られた。

概ね十分である

・親子での活動のため、甘えて泣き出す子供もいたが、全体ではまとまって楽しく活動ができています。

### 3 事業計画に沿った運営がされているか？

評価理由

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 3 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

十分である

・十分されている。

### 4 清潔に保たれているか？

評価理由

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 3 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

十分である

・活動中に加湿するなど子供の健康管理を含め、配慮されている。教室内も清潔である。  
・きれいでした。



5 事故の無いように配慮されているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 3 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・パーテーションを使用したり、保護者にも協力してもらいながら対応しているのが良い。  
 ・備品の管理・親子の座る位置を含め配慮されていた。

6 事業内容を十分理解しているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 3 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・詳細な説明が出来ていた。

7 質問に明確に答えられているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 3 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・とてもよい回答でした。

8 働きやすい現場となっているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 3 |
| 概ね十分である   | 0 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・多職種との会話や情報共有が出来ていて、よいという感想でした。

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 2 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・時間のない中で十分な配慮をしている。

概ね十分である

・時間が足りず、フィードバックが十分とは言えないので、もう少し個別の対応ができるよう検討してほしい。

10 総合評価

|           |   |
|-----------|---|
| 十分である     | 2 |
| 概ね十分である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不十分である  | 0 |
| 不十分である    | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

十分である

・大変よい事業と思います。

概ね十分である

・子供たちはよく活動に取り組み、職員の対応もよく、センター内も清潔でよい。次年度も同じような対応を期待する。

その他(自由意見)

- ・親子共に参加し課題を達成していく内容はとてもよいです。
- ・親子さんが楽しく過ごされている様子からも職員の皆さんが、一生懸命取り組んでいることを感じました。

## 5 利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）

### 外来訓練事業

（回答者数43人）

1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

|           |    |
|-----------|----|
| 大変満足である   | 25 |
| 概ね満足である   | 16 |
| どちらともいえない | 0  |
| やや不満である   | 1  |
| 不満である     | 0  |
| 未記入       | 1  |

評価理由

大変満足である

・1対1で我が子のことをよく観察、検証して関わってくれるから。  
・本人だけでなく、兄弟とのかかわり方なども親身に相談させていただきとても感謝しています。  
・訓練に通いはじめてから出来ることがたくさんふえました。  
・子供本人の成長具合にあわせて綿密な計画を立てて行って頂けるところが良いです。  
・子供の援助・言葉がけを学べて親子共にとても助かっています。どうして子どもができないのかを専門の目で見えて頂いて心強いです。  
・先生の指導が適格で、子供の発達についてもよく見てくれています。  
・担当してくださっているOTの先生は愛情をもって熱心にみて下さっているのです。子どもも楽しく参加できています。  
・いろいろな課題を設定していただける。苦手なことも何度もやり、とくいを伸ばしたりして楽しく通っています。  
・就学前に訓練をお願いしているが、大変効果が出ていて、将来への不安もかなり解消している。本当に助かっている。  
・専門の資格と経験の沢山ある先生に療育していただき、とても満足です。  
・子どもの苦手なところに必要な課題を、適したタイミングで与えてもらえました。そしてそれを子どもが楽しんでできるように接してもらうことで、前向きに取り組むことができました。親の悩みについても、具体的なアドバイスがもらえてうれしかったし、精神的に支えてもらいました。  
・子供の特性に合わせてプログラムを組んでくれている為。

概ね満足である

・仕事をしているため、割られる曜日時間の都合が少々大変なので。  
・就学前の一年間通うことができ、娘が苦手なところ、どうやったら伸ばしていけるのか理解できた。担当の先生がすごくよかった。  
・子供が楽しんで通っていて満足しています。  
・子供の個性や特徴、凸凹に合わせたプログラムを組んでくださり、親子ともいつも楽しみに通わせていただいております。いつもありがとうございます。曜日や時間帯があまり選べない、振り替えが出来ないので、月3回通えないことがあり、そこだけが残念です。  
・先生がとても熱心で親の質問にも親身になって下さっている。  
・子どもが先生が好きで楽しいようです。  
・通うようになり、先生(大人)とのやり取りが上手になっていくのが目に見えてわかりました。やり取りがとても楽しそうでした。指導のポイントもわかりやすく教えていただきました。  
・子どもが楽しそうに毎週楽しみにしています。通ってよかったと思います。  
・決定される時間割なのでしかたないですが、年長組はできるだけ15時以降に組み込まれると助かると思いました。  
・専門の方に相談したり、訓練をうけることができるので助かりました。病院等の医療機関よりは、初めてで不安があっても相談しやすいです。  
・出来れば、幼稚園を休むことなく、習い事のように通えたらうれしいです。

やや不満である

・外来訓練事業が平日のみ月3回実施だったため、利用可にしていただいたが今年度はほとんどいけないままだった。平日が両親ともに仕事だと厳しい。対人関係が気になるため利用していたが、年少クラスはグループでの事業が無く困り感に対してのくんれんになったが微妙だった。

2 運営事業者についてお聞きます。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

|           |    |
|-----------|----|
| 大変満足である   | 21 |
| 概ね満足である   | 14 |
| どちらともいえない | 5  |
| やや不満である   | 1  |
| 不満である     | 0  |
| 未記入       | 2  |

評価理由

大変満足である

・とても丁寧でやさしく親切。  
・常に子供のことを心身のあらゆる面から考案して訓練の内容を考えて下さっています。  
・親身な対応のおかげで、こどもも通うのが楽しみになっている(最初は不安で泣いていたが、すぐに解消された)。  
・良い評判しか聞きません。実績のある事業者で安心です。  
・皆さんが明るく優しく接して下さるので、通うことでとても前向きになれます。毎年変化があるのも、できる支援を向上させるよう尽力されているのだと思っています。

概ね満足である

・知人のお子さんもこちらでお世話になっているが、小学校に入ってから外来訓練を希望しても利用者増により継続利用できなかったと聞き、その後のフォローがないため心配になったため、必要とするサービスが受けられなければ、どうすればよいのか不安が残る。思った程小学校の対応も良くないと聞き尚更不安になった。人事と思えない。  
・子育ての悩みや、子供への訓練の場があることはとてもいいことだと思うし、りようできて有難いと思います。

どちらともいえない

・よくわからない。  
・小学生のフォローもできればしていただきたいし、学習でつまづきがでてから。フォローも学校のコーディネーターだけでなく、「きらり」の中にあるとより安心できるのではと思います。  
・運営のスタッフの方は、窓口いる〇〇さんとあいさつするくらいで、他の方は顔もほとんど見かけません。もう少し気軽に顔を見かけるようでないかと相談もしづらい。又、例年、次年度の訓練の申し込みの結果が何をもとに決めているのか不明で、年齢の割に生活リズムを考慮していただけなかったり、そもそも申し込みについては説明もない。1年に一度の申し込みですし、もう少し丁寧なやり取りしてほしい。(せめて変更点だけでも、口頭で伝えるとか)コミュニケーションが希薄だと感じます。

やや不満である

・先生と事務室がいつでもしっかり情報共有できているというのは難しいかも知れないけど、事務室から確認して連絡をいただいたり出来れば大変ありがたかったです。また、ほかの事業で振り込み可能なのであればこの事業も振込可だと大変助かります。

### 3 現在利用している事業において今後実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

- ・放課後デイサービスの枠を増やしてほしい。
- ・小学校に入学しこの特性や、指導のコツなどを学校の担任の先生と密に連携を取ってほしい。定期的な情報交換。
- ・きらりのような施設を増やしてほしい。
- ・STをやりたい。成長につれてPTもやりたいです。
- ・今のところ充実しておりさらにプラスして何かというのは個人的にございません。
- ・子供が外来訓練に通わせていただいていると、親が先生とお話できる時間が5～10分程度なので、親だけで先生とじっくり相談できるサービスも併用できるとありがたいです。
- ・夏期休暇中など長期休みの間に有料の短期講習などがあれば利用したいです。
- ・就園前の1才代や2才代に預け先がなく困った。私立の保育園は断られたこともあり、公立園の一時保育は激戦で予約が取れず本当に困った。
- ・子供の特徴についての接し方や怒り方、就学について(ここが一番不安な為)の対応等もつつこんだ話を先生から聞きたいです。グレーゾーンの子はどのような環境においてやった方がのびのびできるのか悩みます。
- ・日常生活に密着した訓練をもっと取り入れて頂き、生活訓練を通して家でできるアドバイスも可能な限りお願いしたい。
- ・ピノキオ(通所)の定員をもう少し増やして入りやすくしてほしい。待機が多くなかなかは入れないため。
- ・小学校との連携や、相談、先生や学校に理解をしていただくための勉強会など。小学生向けのペアトレーニング。
- ・同じ学年で同じような特性を持った子のグループ授業。外来は現在個別なので似たような特性なら2～3名で療育してもいいかと。対人関係の学びにもつながるのではないかと。
- ・未就学児対象のサービスですが、1年生の1学期くらいまで見て頂けるとより安心できる。振り替えが出来るとさらに良かった。
- ・小学生の個別ST
- ・3歳児(年少)のグループクラスが実施されてほしいです。現状3歳児は個別のみになってしまうので。
- ・3歳児以下の個別訓練事業。親子通園事業を利用していたことがありますが、多動児さんと思われるご家庭が一緒だった際に先生2人に子ども5～6人(+保護者)で1時間半様々な活動する中で多動児さんと親御さんがワークに入れず二人だけで教室の隅に行きワークが終わるまでそのままだった事が何回かあった。グループワークと個別訓練の両方後選択肢としてあればよいと思った。

#### 4 その他(自由意見)

- ・2才から親子通園で通いはじめ、親子ともお世話になりました。2才の頃はとても育てにくい子でしたが、きらりに来て、接し方を教わり、訓練でとてもおびました。来年から小学生で放課後デイに入れなかったので、一旦きり卒業になりますが、また、入れる機会を楽しみに待っています。ありがとうございました。
- ・療育が本当に大事なものだと感じている中で、来年度に療育していただけるのかどうか現在不安な状態です。このような支援を是非とも継続・拡大していただけたらと思います。
- ・現在の利用には大変満足していますが、毎年来年度通えるのか不安があります。もっと希望者は通えるようにしてほしいです。
- ・ニュースで発達障害が取り上げられることが多くなってきたが、実際の教育現場でどれだけ先生方が理解できているのか解らない。どのような配慮をしていただけるのか情報がないため不安。二次障害の予防のためにも学校の取り組みを明確にして欲しい。グレーゾーンの発達障害はどの程度のサポートが受けられるのか知りたい。
- ・大変お世話になりました。どうもありがとうございました。
- ・今のこのクオリティ(計画やそれをサポートする配慮など)を保ち続けて頂けることが一番ではないかと思います。
- ・いつも温かいご指導ありがとうございます。曜日や時間帯を選べるようにいただきたいです。振り替えが出来るとうれしいです。親がじっくり先生と相談させていただけるサービスがあるとありがたいです。
- ・土曜日のイベントや交流会など情報を交換できる場を増やしてほしい。放課後など子供が集まれる場があればいいと思う。通級情報なども集めにくく、不安。
- ・小学校に入る前の幼児が相談できる施設があり、とても助かりました。きりに通い出してからとても落ち着いたと思います。ありがとうございました。
- ・きりに通所したことでもとても変わりました。一見遊びにみえる内容が、子供にとって学びも兼ねているので、先生方には本当に感謝しています。ここに通所出来て本当にラッキーでした。ただ、ちょっと変わっている子の(診断までいかないまでも)何が悩み事なのか、どこの部分に属しているのか、どこのグレーゾーンなのか、はっきり教えてほしかったです。
- ・もっと「きり」受け入れをしてほしい。結果が分からなくてハラハラする。子どもの問題点分かるがすぐ結果がでるものじゃないから長期的に通いたい。
- ・2年間ありがとうございました。イヤイヤしている子供の気持ちに寄り添いながら訓練を続けていただけました。少しずつ成長できたのがうれしいです。
- ・幼稚園(年少)に通っています。(来年は年中)きりに通うきっかけは、幼稚園から一方的なものでした。親が思うきりに通う事と、幼稚園が求めるものと、うまくやり取りが出来ず、幼稚園ともめました。(幼稚園が親の言うことに耳を傾けてくれませんでした)親もきりをうまく活用できるかわからな所もありました。親ときりと幼稚園とうまくやり取り出来たらよかったです。ありがとうございました。
- ・年に数回講座が開催されていますが、いずれも平日の開催で仕事をしている保護者は参加できません。全ての講座は無理でもいくつかは土日に実施をして欲しい。
- ・希望しても待機が多くいと聞きます。部屋を見ていると100%の稼働ではないように見受けられるので、療法士さんの確保をして多くの方がサービスを安定して受けられるようにしてほしいと思います。
- ・言葉のボキャブラリーが増えたり、苦手なことを少しずつ挑戦することを覚えたり、それが自信につながったり。一年で大きく成長を感じました。ありがとうございました。

- ・子どもは2才児ですが、訓練時間が11:30-12:30でした。保育園の食事～お昼寝の時間にかぶっていて、日頃の生活リズムを考えると集中できない時間です。いろいろな事情があるかもしれませんが年齢(特に小さいうちは月齢)を考慮した時間組をして欲しいです。
- ・定期的に子供の様子や相談ができる時間があると心強いです。
- ・来年度の事業の利用希望用紙ですが、紙にある日が月～金までの曜日選択で半分以上「×」をつけていると選考してもらえないということを提出時に知り驚きました。利用希望の方が多いのでとのことでしたが、「×」が多いから選考から外すというのは事業者側の都合のように感じてしまいました。来年度以降もそのような選考になるのであれば、用紙にそのように明記しておいていただきたいです。
- ・平日は仕事をしているので、親子通園事業も個別訓練事業もなかなか通う事が出来ず終わってしまった感じです。土曜日クラスという要望もあると思うので、一度利用希望に土曜日クラスの利用意向調査のような項目を入れていただけないでしょうか？
- ・きらりに通っていると一言言っただけで幼稚園から門前払いされて行き場がなく、ピノキオを選択せざるを得なかったという話を聞いたことがあります。もし本当にそのようなことが繰り返されていしまうのであれば年少にあがる前の進路選択の際に道がせばまらない様にきりからも年に何度か市内の幼稚園に働かけをしていただいて相互で何か道を広げられるようなことは出来ないでしょうか。市に対しても要望など出していただけたら助かります。
- ・外来訓練事業後に、先生と保護者で話をする時間があるが、多い時だと3組鉢合わせで隣で話している内容もお互い聞こえる、顔もよく見えるような状態で廊下に出ている椅子でやるスタイルなのが気になっている。どこの家も重い話をしているのでもう少し、話している内容が聞こえないようにせめて出来ないかと思う。
- ・親同士の交流や情報交換をする場、先輩のお母さんのお話を聞く懇談会があるとうれしいです。
- ・うちの子は言語聴覚士さんに訓練をしていただいていた。子どもの訓練に加えて、私の心のケアまでしていただいたような感じがします。今回この訓練が必要と分かって親自身少なからずや気持ち落ち込み悩みました。そういう気持ちも軽く前向きになりました。ありがとうございました。

## 親子通園事業

(回答者数8人)

- 1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

|           |   |
|-----------|---|
| 大変満足である   | 7 |
| 概ね満足である   | 1 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不満である   | 0 |
| 不満である     | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

大変満足である

・ちょっとした相談にもすぐ対応してくれる。  
・丁寧に細かく対応していただいている上、遊びの中で自己肯定感をぐくもうとしていただいているので。

- 2 運営事業者についてお聞きします。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

|           |   |
|-----------|---|
| 大変満足である   | 4 |
| 概ね満足である   | 4 |
| どちらともいえない | 0 |
| やや不満である   | 0 |
| 不満である     | 0 |
| 未記入       | 0 |

評価理由

大変満足である

・とても親切で、本当に助けて頂いています。

- 4 現在利用している事業において今後実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

なし

- 5 その他(自由意見)

なし



## 6 課題の整理

| 検討項目     | 内容  | 進捗             |
|----------|---|----------------|
| 連携・発信    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校等関係機関との連携の強化</li> <li>・きらりからの発信力の強化</li> </ul>                | 拡充<br>拡充       |
| サービスの向上  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練内容の充実</li> <li>・待機者への支援</li> <li>・更なる専門性の向上</li> </ul>        | 充実<br>拡充<br>充実 |
| サービスの多様化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の交流</li> <li>・送迎方法の見直し</li> </ul>                          | 検討<br>継続       |
| 施設の利用状況  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用方法の見直し</li> <li>・稼働率の向上</li> </ul>                            | 検討<br>充実       |
| 事業の拡大    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数の拡大</li> </ul>  | 充実             |
| 新規事業の導入  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未実施事業の実施</li> <li>・新たな療育方法の導入</li> <li>・きょうだい等に対する支援</li> </ul> | 検討<br>検討<br>検討 |
| 施設       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存事業及び新規事業に合わせた施設の改変</li> </ul>                                 | 検討             |

拡充…既存の枠組みの拡充を伴う継続

充実…既存の枠組み内での向上

継続…現状どおりの実施

検討…検討段階

## 7 総括

平成25年10月の「きらり」開所から約4年半が経過する中で、その運営に関する内容等については本協議会において確認及び検証を行ってきたところである。平成29年度は第2期（平成28・29年度）の最終年度として全4回の協議会を開催した。本頁はその1年間の総括としてまとめるものである。

はじめに、提供しているサービスの内容及び利用実績について、提供しているサービスは東京都福祉サービス第三者評価の評価機関による評価、本運営協議会委員による評価及び利用者調査の結果からも高く評価することができる。一方、利用実績に目を向けると、保育所等訪問支援事業については利用が少ない状況が続いている。その主な要因としては、利用者にも受け入れる側にも事業内容に関する周知が進んでいないことが挙げられるが、本事業は児童が集団生活にうまく馴染めるよう支援する有用な手段であることから、今後一層の周知啓発と利用促進を進めていくことが必要である。

続いて、施設の管理運営面について、運営法人が指定管理者として施設の管理を行っているが、大規模な修繕等はなく、また、委員の評価からもわかる通り、施設内は清潔に保たれていることから、管理状況は良好であるといえる。

続いて、「きらり」からの発信について、前年度から引き続き講演会並びに研修会等を複数回開催し、利用者以外の方や市内の支援者への発信に力を入れている。しかし、内容については一貫性に欠ける部分があり、今後は本運営協議会からの意見も取り入れながら計画していただきたい。

最後に、関係機関との連携について、幼稚園及び保育園とは支援者研修や日常の情報交換等を通して一定の関係性を構築することができていると考えられるが、それに比べると小中学校との連携については進捗が遅れている。課題としては、「きらり」の認知度が低いこと、また、それに起因してきらりと小中学校の連携が進んでいないことが挙げられる。平成29年度は、就学相談に関する説明会を「きらり」において開催したり、教育委員会主催の研修会に職員が定期的に参加したりするなど、新たな試みもあったが、依然として「きらり」の認知度が低い状況がうかがえる。今後は、小中学校における認知度を高め、より連携した支援が行えるよう注力していくことが急務である。

以上の内容を踏まえ、平成29年度における「きらり」の総合的な評価は、概ね高いものであるといえるが、一方で、「きらり」が抱える課題についても浮き彫りとなってきている。今年度課題として抽出された事項については、来年度以降解消していけるよう市及び運営事業者に期待するとともに、本協議会においても継続して議論を深めていくことが必要である。

# 参考資料

- 小金井市児童発達支援センター運営協議会規則
- 小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿
- 平成29年度講演会・研修会開催実績
- 平成29年度利用実績一覧

## 小金井市児童発達支援センター運営協議会規則

### 小金井市児童発達支援センター運営協議会規則

(趣旨)

**第1条** この規則は、小金井市児童発達支援センター条例（平成25年条例第19号）第19条の規定及び小金井市と小金井市児童発達支援センターの指定管理者（以下「指定管理者」という。）との間で取り交わす管理に関する基本協定に基づき、小金井市児童発達支援センター（以下「センター」という。）の利用者及び関係者の意見を反映して指定管理者の事業運営の適正化を目的として設置する小金井市児童発達支援センター運営協議会（以下「協議会」という。）に関して、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

**第2条** 協議会は、次に掲げる事項を所掌し課題解決等に向けた方策の提案並びに実施事業の執行状況の検証及び評価（以下この条において「提案等」という。）を行う。

- (1) センターの運営に関すること。
- (2) センターの管理に関すること。
- (3) センターの事業執行に関すること。
- (4) その他センターの事業に関すること。

2 協議会は、提案等の結果を速やかに市長に報告するものとする。

(組織)

**第3条** 協議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) センター利用者の保護者 3人以内
- (2) 市内関係団体代表 4人以内
- (3) 学識経験者 2人以内
- (4) 関係行政機関の職員 3人以内

(任期)

**第4条** 委員の任期は、2年とする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

**第5条** 協議会に、会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

**第6条** 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の2分の1以上の者の出席がなければ、会議を開催することができない。

3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(意見の聴取)

**第7条** 協議会は、必要に応じて委員以外の者に対して出席を求め、意見を聴くことができる。

(公開)

**第8条** 協議会は、公開とする。ただし、公開することが協議会の公正な運営に支障があると認められるときは、出席委員の過半数の議決により、非公開とすることができる。

(庶務)

**第9条** 協議会の庶務は、福祉保健部自立生活支援課において処理する。

(委任)

**第10条** この規則の施行に関して必要な事項は、市長が別に定める。

**付 則**

この規則は、平成25年10月1日から施行する。

**付 則** (平成28年3月31日規則第37号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿

(平成28年4月～平成30年3月まで)

| 氏名                      | 選出区分   |
|-------------------------|--------|
| 川村 祐子                   | 市民公募   |
| 横田 涼子                   |        |
| 池尻 洋史                   |        |
| 吉岡 博之                   | 市内関係団体 |
| 渡邊 孝之                   |        |
| 長岡 好                    |        |
| 吉岡 さやか                  |        |
| 高橋 智                    | 学識経験者  |
| 金子 猛                    |        |
| 永井 秀二                   | 関係行政機関 |
| 笠井 綾子<br>(平成29年3月31日まで) |        |
| 秋葉 美苗子<br>(平成29年4月1日から) |        |
| 花岡 好枝                   |        |

※敬称略

## 平成 29 年度講演会・研修会開催実績

### 主催講演会・研修会

| 開催日    | 内容                            | 講師           | 対象者                                  | 参加者数 |
|--------|-------------------------------|--------------|--------------------------------------|------|
| 5月25日  | 就学相談・小金井市の特別支援教育について          | きらり職員<br>市職員 | きらり利用<br>保護者                         | 26人  |
| 6月8日   | 良い姿勢が運動の発達につながるの<br>はなぜか？     | 中山 雅和先生      | 市内在住・<br>在勤・在学<br>の方                 | 30人  |
| 7月6日   | 発達検査ってなん<br>だろう？              | きらり職員        | きらり利用<br>保護者                         | 26人  |
| 7月7日   | 子どものつまずき<br>の原因から考える<br>支援    | 霜田 浩信先生      | 市内在勤<br>の、子ども<br>の支援に携<br>わっている<br>方 | 95人  |
| 9月26日  | 遊びと感覚統合                       | きらり職員        | きらり利用<br>保護者                         | 7人   |
| 10月12日 | 子どもの立ち直り<br>力「レジリエン<br>ス」を育てる | 藤野 博先生       | 市内在住・<br>在勤・在学<br>の方                 | 103人 |
| 11月30日 | 医療から見た発達<br>支援                | 川崎 葉子先生      | 市内在勤<br>の、子ども<br>の支援に携<br>わっている<br>方 | 107人 |



平成29年度利用実績一覧

平成30年3月31日現在

|                     | 平成29年 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 平成30年 |  |  | 合計 |
|---------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|--|--|----|
|                     | 4月    | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |       |  |  |    |
| ①相談支援事業（一般）         | 17件   | 10件 | 15件 | 18件 | 10件 | 19件 | 12件 | 27件 | 14件 | 6件  | 7件  | 11件 | 166件  |  |  |    |
| ②相談支援事業（専門）         | 25件   | 41件 | 39件 | 45件 | 35件 | 50件 | 44件 | 69件 | 47件 | 49件 | 47件 | 52件 | 543件  |  |  |    |
| ③相談支援事業（ <b>B</b> ） | 35件   | 32件 | 51件 | 15件 | 19件 | 11件 | 18件 | 27件 | 23件 | 13件 | 16件 | 26件 | 286件  |  |  |    |

|               | 平成29年 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 平成30年  |  |  | 合計 |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|--|--|----|
|               | 4月    | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   |        |  |  |    |
| ④児童発達支援事業     | 22人   | 22人  | 22人  | 22人  | 22人  | 22人  | 22人  | 22人  | 23人  | 23人  | 23人  | 23人  | 268人   |  |  |    |
| ⑤放課後等デイサービス事業 | 50人   | 50人  | 50人  | 50人  | 50人  | 50人  | 50人  | 49人  | 49人  | 49人  | 49人  | 49人  | -      |  |  |    |
| ⑥保育所等訪問支援事業   | 0人    | 0人   | 0人   | 0人   | 0人   | 0人   | 1人   | 3人   | 3人   | 2人   | 1人   | 0人   | 10人    |  |  |    |
| 回数            | 0回    | 0回   | 0回   | 0回   | 0回   | 0回   | 1回   | 3回   | 3回   | 2回   | 1回   | 0回   | 10回    |  |  |    |
| ⑦親子通園事業       | 8人    | 19人  | 20人  | 21人  | 23人  | 25人  | 28人  | 32人  | 34人  | 36人  | 36人  | 36人  | -      |  |  |    |
| 回数            | 2回    | 7回   | 10回  | 8回   | 11回  | 9回   | 10回  | 12回  | 12回  | 9回   | 11回  | 6回   | 107回   |  |  |    |
| ⑧外来訓練事業       | 109人  | 115人 | 120人 | 121人 | 122人 | 125人 | 125人 | 122人 | 125人 | 130人 | 130人 | 130人 | -      |  |  |    |
| 回数            | 279回  | 292回 | 298回 | 286回 | 257回 | 304回 | 288回 | 281回 | 295回 | 337回 | 308回 | 281回 | 3,506回 |  |  |    |

各事業の報告内容について

|                     |                                |
|---------------------|--------------------------------|
| ①相談支援事業（一般）         | 新規の相談の方が対象                     |
| ②相談支援事業（専門）         | 継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。          |
| ③相談支援事業（ <b>B</b> ） | 相談者、関係機関等との電話での相談。予約受付は数に含まない。 |
| ④児童発達支援事業           | 登録者数                           |
| ⑤放課後等デイサービス         | 登録者数                           |
| ⑥保育所等訪問支援事業         | 登録者数及び実施回数                     |
| ⑦親子通園事業             | 登録者数                           |
| ⑧外来訓練事業             | 登録者数及び実施回数                     |